

六稜会報

journal of the RIKURYO alumni association of KITANO HIGH SCHOOL



旧校舎玄関前にあった昭和と平成を繋ぐ大楠と新ラグビーポール

INDEX

45

2005.9.30

- 02 会長・名誉会長挨拶
- 04 会計報告
- 06 六稜会館だより・F R 委員会
- 10 東京六稜会
- 12 会務報告
- 13 母校に還った六稜生
- 16 同期会紹介
- 20 パーティレポート
- 22 トピックス
- 27 母校の窓

共に進む道

六稜同窓会会長 山本次郎 (62期)

空梅雨と局地豪雨に始まった今年の夏ですが、六稜同窓会員の皆様方はお元気でお暮らしだったでしょうか。

今日は「共に進む道」と題して、六稜同窓会が目指している方向について私の考えを述べたい、と思います。

創立 132 周年を迎える母校の同窓会でありますから、28000 人を超える六稜同窓会員は、白寿を祝う大先輩から今春卒業した 117 期の 18 才まで、年齢の幅は実に 80 有余年であります。80 期あたりがちょうど年齢の中央に位置し、最近の卒業生では男女比も半々となっています。この事実からすれば、今後の六稜同窓会の進むべき方向は、当然若い人と女性の力をより一層發揮して頂くことであろう、と私は確信しています。

六稜同窓会の存在価値は何か?と申しますと、その答は会則第 3 条「目的」に明記されているとおり、「本会は会員間の親睦をはかり、母校の発展に寄与し、あわせて、社会公益に貢献することを目的とする。」ことであります。

皆様方の募金により 2003 年竣工した六稜会館は、この目的に沿って同窓会のパワーを具現化するための建物であります。会員の中でも 80 期以降の若い人たちと女性の積極的な活動が殊に期待されています。わが六稜同窓会は年齢も社会的経験もそれぞれに異なる老若男女が、六稜の星のもとに、自由闊達に話し合い、会則に掲げられた同窓会の目的に向かって前進する組織なのであります。

総務、財務、会館運営、名簿、広報、F R (フレッシュ六稜)、東京、学内の 8 委員会で会務を分担している常任理事会も、また、卒業期を代表する各理事も、いずれもこの大目的「親睦、母校発展、社会公益」を目指して皆様方の連携プレーを發揮しやすくするために、活躍しているのです。

同窓会では、委員長会議、常任理事会、理事会などを可能な限り頻繁に開いて合議を重ね、立案決断をし、これを実行に移しています。その日常業務を世話しているのが事務局です。これら諸々の役員は皆様方が活躍される手助けをしています。六稜会館はその場を提供している

のです。

同期会、

トークリ



レー、カルチャー教室、展示会等々も日を追って充実していますが、皆様方からの提案、行動、ご協力がさらに必要となっております。どうか皆様方の六稜同窓会へのご理解とご協力を、今後共よろしくお願ひいたします。

しかし、ことは組織の在り方ばかりではありません。結局は、これを動かす人々の働きです。いささか旧聞になりますが、この母校も六十年前の大戦中、学校防衛中の 2 名、勤労動員中の 7 名、計 9 名の生徒を喪いました。しかし、この悲惨の日々を乗り越えて、先生方が生徒を懸命に励ましたのです。

「封建的な学校名は全部変えてしまえ」と命令する米軍政部の方針に「この焼け野原に残された青年の心の拠り所は何であると思うか。ただ母校あるのみである。あなたはその母校まで青年たちから奪おうとするのか」といって席を立たれた浜田校長（先生は府の学務課長も兼ねておられたので、結局、全国で大阪だけ学校の旧名が残りました。）戦後の墨塗りの歴史書は捨てて旧制大高時代のご自身のノートで講義をされたローマ史の大家、林校長。米軍占領下であれ、E・A・ポーの短篇やソローのウォールデン等、アメリカ文学の傑作で授業をつづけられた英語科の先生方。もはや戦後は終ったとして北野の弾痕壁のコンクリート塗りを企てた府教委の方針に対し、当時の学校防衛隊の生徒の意見をきかれ、歴史の遺跡の保存を導かれた泉校長。相手からの弾痕だけを遺すのではいけない、われわれが朋友の殉難の碑を打ち立てよう、と立ち上った生徒たち。教会のオルガンをひきながら追悼の手記を残された池田君のお母さん。その手記を同窓会に託された平石先生。脳天深く凹んだ弟の鉄カブトを学校にご寄贈下さった中島君の御一家。これら一連のページを繰って行くと、私たちが、この学校に入り共に学んだのは、単に偶然だったのではなく、それは歴史の必然の歩みだったのではなかったのか、と私は今思うのです。

ご挨拶

大阪府立北野高等学校校長
六稜同窓会名誉会長 中垣芳隆

六稜同窓会会員の皆様方にはご健勝でご活躍のこととお慶び申しあげます。

タイムフライズと申しますが、本職に就いて早いもので3年余りが過ぎ去りました。この間、同窓生の皆様方の母校への熱い思いに幾度となく触れ、物心両面にわたり様々な形でご支援をいただきしておりますことに対し、改めて感謝を申しあげます。

本日、7月3日も剣道部再建50年の祝賀会が催され、六稜剣友会から記念としての品をいただき、また、過日は六稜ラガーラグビー部からラグビー場をご寄贈いただきました。「12メートルのポールの更に上を目指して欲しい。」と現役の部員への野々村先生の愛情溢れる言葉が心に残ります。

このように運動、文化の各クラブへのご支援をはじめとして、毎年、浄財を学校にお届け下さるK様等々、同窓会会員の皆様方の励ましと交わりを通して、生徒達の体内に先輩から後輩へと連綿と受け継がれてきた北野高校のDNAが育まれる様を見ますと、北野高校は本当に幸せな学校だと思います。

さて、前号では北野高校の近年の取組みの幾つかをご紹介致しましたが、今号では北野の現況の一部をご報告申しあげようと思います。

学校5日制の実施に伴う中学校での学習内容の削減をはじめとして、公立高校を取り巻く状況は必ずしも楽観を許すものではありませんが、伝統校にして府立高校のリーダーをその使命とする北野高校は、その役割をよく果たしていると存じております。

評価全盛の昨今、学校も例外ではなく、教職員が充実感をもって意欲的に職務に当たっているか、生徒は元気に満足して学校に通っているか、保護者の方に学校はどのように映っているのか等々、点検・評価が求められています。

北野高校のホームページ(<http://www.osaka-c.ed.jp/kitano>)にアクセスしていただき、トップページの左隅の学校教育自己診断をクリックしていただければ、このことに関する情報を

ご覧いただけます。
改善の半ばにある
もの、改善に向
ての検討を要する

項目もございますが、全体として北野高校は良
い方向に着実に歩んでいるとご理解いただける
のではないかと存じます。

今、北野高校は日本一忙しい学校と申しても
過言ではございませんが、それにもかかわらず
学校が楽しいと感じる生徒が増加していること
は、教える者と教わる者の意思の疎通が図られ
ていることの証と喜んでおります。

北野高校はいずれの時代にあっても、文武両道を標榜してまいりましたが、部活動に関わって、この4月からの主だったものを紹介すれば、囲碁部員は全国高等学校総合文化祭囲碁部門に大阪府代表として、男子山岳部と女子の走り高跳びは全国総合体育大会に、女子400mリレーと男子バレーボールは近畿大会へと駒を進めます。

また、北野高校への世間の評価として免れる
ことの出来ない進学状況についてでございます
が、ハーバード大学に進学した生徒については、
前号で鎌田教頭が詳しく述べておりますが、今
春の卒業生の現役合格者数について見れば、例
えば京都大学、大阪大学へは、過去6年間の状
況に比べて5割以上増、一クラス当たりで見れ
ば10年以上前の状況へと、新たな躍進へのスタ
ートを予感させる好結果を収めました。

このように北野高校は府立高校のフラッグシッ
ップとしての役割を果たしておりますが、同窓
会会員の皆様方には今後とも暖かいご理解とご
支援をお願い申しあげ、ごあいさつといたします。



会計報告

平成16年度

六稜同窓会 一般会計決算報告

自：平成16年 4月 1日

至：平成17年 3月31日

| | 平成16年度 予算 | 平成16年度 決算 | 備考 |
|----------------|--------------------|-------------------|-----------------------|
| 収入の部 | | | |
| 1 入会金収入 | 960,000 | 948,000 | 316名×3,000 |
| 2 年会費収入 | 21,000,000 | 17,940,000 | 5,986名 |
| 3 総会費収入 | 1,250,000 | 650,000 | |
| 4 寄付金収入 | 1,400,000 | 3,226,500 | 内、会館維持協力金 422,000円 |
| 5 利息収入 | 0 | 246 | |
| 6 出版物等売上 | 200,000 | 477,188 | |
| 7 130周年記念グッズ売上 | 1,300,000 | 348,000 | |
| 8 名簿会計より戻入 | 592,255 | 538,910 | |
| 収入合計 | 26,702,255 | 24,128,844 | |
| 支出の部 | | | |
| 1 運営費 | 11,040,000 | 10,037,286 | |
| (1)人件費 | 2,400,000 | 2,400,000 | |
| (2)雑給 | 2,200,000 | 2,560,000 | |
| (3)旅費・交通費 | 800,000 | 1,056,050 | |
| (4)通信費 | 500,000 | 482,721 | |
| (5)印刷・事務用品費 | 1,300,000 | 1,398,141 | |
| (6)什器・備品 | 0 | 0 | |
| (7)会議費 | 240,000 | 97,137 | |
| (8)総会費 | 2,500,000 | 1,172,792 | |
| (9)慶弔費 | 400,000 | 367,624 | |
| (10)雑費 | 700,000 | 502,821 | |
| 2 広報費 | 9,100,000 | 2,901,472 | |
| (1)WEB関連費 | 500,000 | 86,730 | |
| (2)会報発行関連費 | 7,600,000 | 2,814,742 | |
| (3)広報全般経費 | 1,000,000 | 0 | |
| 3 全国大会出場援助費 | 300,000 | 270,000 | |
| 4 各種事業援助費 | 400,000 | 196,206 | |
| 5 教育環境整備援助費 | 1,000,000 | 1,000,000 | |
| 6 同窓会館関連費 | 5,300,000 | 4,284,790 | |
| (1)雑給 | 600,000 | 503,732 | |
| (2)旅費・交通費 | 100,000 | 64,760 | |
| (3)印刷・事務用品費 | 400,000 | 37,761 | |
| (4)什器備品・設備費 | 2,300,000 | 2,121,767 | |
| (5)光熱費 | 1,000,000 | 1,024,775 | |
| (6)設備管理費 | 700,000 | 328,650 | |
| (7)雑費 | 200,000 | 203,345 | |
| 7 予備費 | 2,649,329 | 1,522,500 | 壁面時計設置費用他 |
| 支出合計 | 29,789,329 | 20,212,254 | |
| 本年度収支差額 | △ 3,087,074 | 3,916,590 | |
| 前年度会費前受 | △ 8,224,000 | △ 8,224,000 | |
| 前年度繰越金 | 11,311,074 | 11,311,074 | |
| 次年度繰越金 | 0 | 7,003,664 | |

以上の通り平成16年度一般会計報告を致します。

平成17年4月21日

六稜同窓会会長 山本 次郎

上記一般会計報告は正確であることを認めます。

平成17年4月21日

六稜同窓会監事 枡田 圭兒

六稜同窓会監事 北浦 康弘

平成16年度 六稜同窓会名簿会計決算報告

自：平成16年 4月 1日

至：平成17年 3月31日

| (第3年度) | 自：平成16年4月 1日 至：平成17年3月31日 | 自：平成14年4月 1日 至：平成17年3月31日 | 摘要 |
|-------------|------------------------------|------------------------------|----------|
| | 円 | 円 | |
| 収入の部 | | | |
| 1 販売高 | 550,000 | 7,982,000 | 1,943冊 |
| 2 広告代 | 0 | 320,000 | |
| 3 絵葉書売上 | 52,500 | 52,500 | |
| 4 一般会計より仮受 | 0 | 592,255 | |
| 収入合計 | 602,500 | 8,946,755 | |
| 支出の部 | | | |
| 1 名簿印刷代 | 0 | 6,793,500 | シーズクリエイト |
| 2 発送費用 | 5,940 | 861,130 | ヤマト運輸他 |
| 3 後納郵便料 | 57,650 | 517,070 | 新北野郵便局 |
| 4 返信用封筒印刷 | 0 | 235,620 | ひかり工房 |
| 5 振込料 | 0 | 525 | |
| 6 一般会計へ戻入 | 538,910 | 538,910 | |
| 支出合計 | 602,500 | 8,946,755 | |
| 本年度收支差額 | 0 | | |
| 前年度繰越金 | 0 | | |
| 次年度繰越金 | 0 | | |

(注) 130周年名簿3月末在庫残高 1914冊

以上の通り平成16年度名簿会計報告を致します。

平成17年4月21日 六稜同窓会会長 山本 次郎

上記名簿会計報告は正確であることを認めます。

平成17年4月21日 六稜同窓会監事 桝田 圭兒
六稜同窓会監事 北浦 康弘

平成16年度 六稜同窓会基金会計決算報告

自：平成16年 4月 1日

至：平成17年 3月31日

| 科目 | 決 算 | 摘要 |
|-------------|--------------|----|
| 収入の部 | 円 | |
| 1 利息收入等 | 3,524 | |
| 収入合計 | 3,524 | |
| 支出の部 | | |
| 支出合計 | 0 | |
| 本年度收支差額 | 3,524 | |
| 前年度繰越金 | 29,207,019 | |
| 次年度繰越金 | 29,210,543 | |

以上の通り平成16年度基金会計報告を致します。

平成17年4月21日 六稜同窓会会長 山本 次郎

上記基金会計報告は正確であることを認めます。

平成17年4月21日 六稜同窓会監事 桝田 圭兒
六稜同窓会監事 北浦 康弘

平成17年度 六稜同窓会 一般会計予算

| | 平成17年度 予算 |
|-------------|-------------------|
| 収入の部 | |
| 1 入会金収入 | 954,000 |
| 2 年会費収入 | 21,000,000 |
| 3 総会費収入 | 800,000 |
| 4 寄付金・協賛金収入 | 1,500,000 |
| 5 利息収入 | 0 |
| 6 出版物等売上 | 800,000 |
| 7 名簿会計より戻入 | 53,345 |
| 収入合計 | 25,107,345 |
| 支出の部 | |
| 1 運営費 | 10,300,000 |
| (1)人件費 | 2,400,000 |
| (2)雑給 | 2,400,000 |
| (3)旅費・交通費 | 1,000,000 |
| (4)通信費 | 500,000 |
| (5)印刷・事務用品費 | 1,000,000 |
| (6)什器・備品 | 300,000 |
| (7)会議費 | 100,000 |
| (8)総会費 | 1,500,000 |
| (9)慶弔費 | 400,000 |
| (10)雑費 | 700,000 |
| 2 広報費 | 11,500,000 |
| (1)WEB関連費 | 500,000 |
| (2)会報発行関連費 | 10,500,000 |
| (3)広報全般経費 | 500,000 |
| 3 全国大会出場援助費 | 300,000 |
| 4 各種事業援助費 | 500,000 |
| 5 教育環境整備援助費 | 1,000,000 |
| 6 同窓会館関連費 | 5,300,000 |
| (1)雑給 | 600,000 |
| (2)旅費・交通費 | 100,000 |
| (3)印刷・事務用品費 | 50,000 |
| (4)什器備品・設備費 | 2,100,000 |
| (5)光熱費 | 1,200,000 |
| (6)設備管理費 | 600,000 |
| (7)雑費 | 650,000 |
| 7 予備費 | 1,211,009 |
| 支出合計 | 30,111,009 |
| 本年度收支差額 | △ 5,003,664 |
| 基金会計積立金 | △ 2,000,000 |
| 前年度繰越金 | 7,003,664 |
| 次年度繰越金 | 0 |

六稜会館だより

会館運営委員長 岡田一彦（65期）

六稜会館は2003年5月仮オープン（2003年11月正式開館）以来2年余りが経ちました。今は同窓生のみならず母校の先生、生徒達、定時制同窓会員などのご利用が急増しています。設計者竹山聖（85期）さんの理念のこもった六稜会館もすっかり附近の景観になじみ、緑の多い樹々の中にユニークな姿を見せています。皆様のご来館をお待ちしています。

来場者数は2003年度約6000人（利用件数172件）でありましたが、2004年度は10000人（同323件）を超えるました。利用目的でこれを分類すると学校利用がトップで、人数の45%、先生方の研究会、生徒さんの発表会やホームルームなどです。次いで同期会が16%、3階ホールは50人～100人くらいの集会には手頃な大きさで、ケータリングサービスも利用できるので好評です。

●六稜会館はこんなに使われています

今年利用していただいている主な会合を紹介します。ただし、学校行事、各期同期会、クラブO B会などはパーティレポートなどで随時掲載していますので割愛します。

1. カルチャー講座

- a) 毎月第2金曜日午後2時～4時「万葉に親しむ」山崎馨先生（昭26年～38年、国語の先生でした）
- b) 毎月第4金曜日午後2時～4時「ケルトの神話を語ろう～日本・ギリシャと比べながら」佐野哲郎先生（昭28年～32年、英語の先生でした）

上記2つの講座は、昨年4月より1年間の予定で開講したのですが、参加者の強い希望と、両先生のお元気な熱意とに支えられて、2年目に突入しています。毎回70名近い受講生には卒業生のみならず、その配偶者、近隣の人々も加わり、知的好奇心を満足させて楽しんでいます。

2. 文化教室

- a) 絵画サロン（水彩画同好会）毎月第1、3金曜日午後1時30分～5時、中元慶子さん（65期）の指導で現在10数名が水彩画を描

いています。今年6月1日には、地階ギャラリーで第1回の作品展を開催しました。

- b) オカリナ同好会 每月第2金曜日12時～4時、松山喜美子さん（70期）を中心に、現在8名で楽しんでいます。
- c) 囲碁の会 每月第3または第4土曜日午後1時～有光友治さん（69期）を中心に、また第3水曜日午後1時～、高崎剛さん（65期）を中心に、それぞれ同期あるいは他の期との対戦を楽しんでいます。故中條敏雄様（55期）から御遺贈いただいた立派な碁盤と碁石5セットを使わせていただいている。
- d) ステンドグラス教室 每月第1月曜日午後1時～5時、高崎剛さん（65期）を先生にステンドグラスの制作に取り組んでいます。

3. その他

4月28日、画家・薮野久美子さん（86期）が地階ギャラリーで個展を開かれました。また、3階ホールで、コーラスやダンスの練習などにも利用されています。

《事務局より》上記の催しに関するお問い合わせや新規利用・参加のご希望は事務局まで。

●六稜トークリレーの報告

今年4月から8月までのトークリレーを紹介しましょう。

◆【第18回】4月9日（土）

「アニメと写真で語る手塚作品～『ある街角の物語』に秘められたもの」
岡原進（59期）さん

快晴、桜が満開の中、大先輩の岡原進さんのトークリレーでした。

今回のトークリレーは、手塚治虫さんの初期のアニメ「ある街角の物語」の上映を挟んで前後に同級生岡原さんのお話という三部構成でした。

岡原さんは手塚さんと北野ではクラスは違う

ものの美術部で一緒になり、暗い絵が主流だった時代に二人だけ明るい絵を描いて先生によく怒られたそうです。しかし第二次世界大戦と重なった時期で、絵を描くどころか勤労に駆り出されたり、卒業も繰り上げになったりという、戦争の影響をもろに受けたのがよく分かりました。今もある 50 メートルプール作りにも 59 期が動員され、これは重労働の苦い思い出だそうです。

◆【第 19 回】5月 7 日（土）

「ガマの油はほんまに効いたのか～漢方薬・生薬の科学性」

清原祥恵(69 期)さん

清原さん得意のユーモア溢れる軽妙な話しぶりで、爆笑やくすくす笑いの溢れる中であつという間の 2 時間でした。ただ面白いだけでなく、清原さんの日頃の研究成果からのきちんとした科学性ある説明が素晴らしく、たった 2 時間でちょっとした健康通になりました。

とにかく健康を維持するためには血液が身体中にさらさらと流れていることが大切、そのためには色々あるけれど、水分の補給が最も大切。これは最も簡単で安価な健康法。

◆【第 20 回】6月 11 日（土）

「歯無しにならない話～歯周病との戦い」

黒川森夫(70 期)さん

平成元年（1989）から、2020 運動（80 歳になつても 20 本以上自分の歯を持ちましょう運動）を始め、だんだんその成果が出ているようです。

「誰でも、何時でも 自分の歯で食べたい！
それは可能である！！」

人生 80 年の時代であるが、パワー、健康は口からである。

歯科領域における 3 大疾病である、う蝕（虫歯）、歯周病（歯槽膿漏）、頸関節症の内、今回は、歯周病に絞って話されました。歯周病は、今や中高年だけの病気ではないので、次のようにしていただきたい。とのことでした。

1. 冷たいものが、しみると危険信号である。
(歯がぬるぬると歯垢がついていて、歯石になっていく)
2. 定期検診を受ける。
3. タバコをやめる。（歯周病は慢性病であり、糖尿病などと関連している。コールタールはタバコをやめても、取れるのに 10 年から 15 年かかるからである）

◆【第 21 回】7月 2 日（土）

「最新デジタル映像のすべて」

大村皓一(68 期)さん

今回は 100 人を超える参加があり、大村皓一さん（宝塚造形芸大教授）の軽妙なお話と映像に一同感銘を受けました。中でもタイガース井川投手の投球フォームをデジタル技術を駆使しての分析には感心しました。

◆【第 22 回】8月 13 日（土）

「ほむら野に立つ～私を救った北野生」

広実輝子さん（旧豊中高女・5 期生）

（北野 59 期相当）

戦時中、動員された工場が爆撃に会い、瀕死の重傷を受けながら、六稜生に助けられた広実さんの、生々しいお話で、100 名以上の参加者に非常な感激を与えました。

豊中高女の仲間の方々とのお話も、戦争を経験した方々にとって、貴重な一日となつた。

また、戦争を経験しない若い方も、次のような感想を送っていただきました。

広実輝子さんの戦争体験談を拝聴して、亡き母も同じ体験をしたのだと感慨に咽び泣きました。さて、現在に至つては、テロそして戦争のロボット・IT 化など いまだに平和な世の中ではありませんが、戦後生まれの我々は、この戦争という事実を責任をもつて後世に伝えていかなければならぬと改めて痛感致しました。戦争は忘れた頃に再び起るものであれば、戦争を未然に防ぐ為に。国を超え、民族を超え、平和の為に。

● 六稜トークリレーの予定

今年 9 月から 12 月までの予定は下記の通りです。皆様のご参加をお待ちします。
(原則、毎月第 1 土曜日 14:00 から)

◆【第 23 回】9月 3 日（土）

「楽器の街に楽器の博物館～浜松市楽器博物館の挑戦」

嶋和彦さん（86 期・浜松市楽器博物館館長）

◆【第 24 回】10月 1 日（土）

「能と能面の秘密～キーワードは原人称」

見市泰男さん（81 期・能面作家）

◆【第25回】11月5日（土）

「ウナギを作る～完全養殖への挑戦」

田中秀樹さん（88期・（独）水産総合研究センター養殖研究所）

◆【第26回】12月3日（土）

第1部

「六稜人の想い出（仮題）」志甫溥さん（66期・東京放送常任顧問）（六稜同窓会副会長・東京六稜会会长）

第2部

「ハーモニカ独奏会とトーク（仮題）」六島昭治さん（57期）

「吹奏楽演奏」若手六稜吹奏楽部OBの皆さん
第3部

「六稜年末名刺交換会と懇親会」（追加参加費要）詳細は未定です。

2006年1月は休み

◆【第27回】2月4日（土）

「ポストグノム・ゲノム創薬時代の医療・医薬品（抗ガン剤）」（仮題）

玉沖達也さん（78期・奈良先端科学技術大学院教授）

◆【第28回】3月4日（土）

【Coro Speranza】（コーラスアンサンブル）

有澤淳（83期）家倉智子（85期）坂口和彦（90期）鐵見佳子（93期）

出雲英（94期）坂口敏子（98期）岡本雅子（103期）

倉本典明、正田真紀子 田中美奈子 鐵見太郎、
徳永由里子、福田研二、船越美穂
(敬称略)

詳しい内容は、「六稜WEB」をご覧ください。
<http://rikuryo.or.jp/talkrelay/>

会館運営委員の募集

会館運営委員は、今8名ですが2～3の例外を除き60期代の卒業生です。若返りと増員が必要です。70期代以降でお手伝いしていただける人は事務局までご連絡下さい。

また、トーキリレーを手伝っていただく方も募集しています。

F R 委員会って何ですか？

F R 委員長 千種康一（88期）

昨年4月に新任された六稜同窓会山本会長が新校舎、新同窓会館の完成、130周年事業終了後の六稜同窓会の新方針を打ち出されました。その中で永年の伝統を踏襲するだけでなく、80期以降の若手に活動の場を提供するF R（フレッシュ六稜）委員会を発足されました。同窓会費の納入状況や学年理事の理事会への参加状況をみても80期以降がもっと同窓会に関心を持って参加して頂かないといけない状況です。若い世代の考え方も変化しており、同窓会から積極的に働きかけ、同窓会の良さをしっかりと理解してもらわないといけない状況でもあります。そこでこれまでの同窓会でも8099委員会が活動されていましたが、範囲を更に卒業間もない新会員まで広げて同窓会事務局と連携しながら、自由にテーマを企画・提案し実行していく委員会としてF R委員会がスタートしました。

昨年6月の常任理事会・理事会で、旧8099のメンバーを中心にF R委員会がスタートしてから、若手の学年理事や学生さんなど、同窓会活動にご協力頂ける方に機会ある毎に声を掛けてきたおかげで、現在は40名ぐらいが委員会の登録者となっています。委員会の予定や行事の予定、また意見交換もインターネットのメーリングリスト（ML）を使っており、登録して頂いた方に様々なお願いや情報を送らせて頂いています。80期から今年の卒業生117期まで37期に渡って、学年理事を中心にどんどん参加して頂きたい委員会ですのでご参加頂ける方はfresh-rikuryo@yahoo-groups.jpまでメールを頂きますようお願い致します。

さて、運営は月1回のペースでF R委員会を実施しています。通常は六稜会館で平日の夜に委員会を実施していますが、時々は梅田の喫茶店や居酒屋でも実施することがあります。参加者は忙しい実働世代の為か、数人から十数人前後です。親子ほども離れた学生さんの委員からの積極的な意見も有り、人数の割には元気な話し合いの場になっています。また、六稜会館のトーキリレーの日に委員会を行い、お手伝いを兼ねることもあります。事前に企画を話し合ってまとめ、常任理事会や理事会へ提案したり、

実施は事務局へ相談することで運営しております。これまでの1年間の活動内容は下記の通りです。

1. はじめての同期会

六稜同窓会人としての同期のつながりや幹事の役割の定着を目的として、卒業して社会に出るまでの学生の段階ではじめての同期会を六稜会館で開催して頂くことにしました。連絡や開催のお手伝いをします。昨年は113期が実施されました。

2. 同窓会費納入の多様化の検討

同窓会費の納入率をアップし、事務を効率化する方法について検討しました。コンビニ振込みを可能とするe-furi等を提案しました。

3. 六稜同窓会新人幹事歓迎会の実施

現役生で選ばれる学年幹事やクラス幹事に同窓会を理解して頂く説明会を年末に実施し、受験等が終わった3月に同窓会役員も出席の上、新人幹事の歓迎会を実施しました。117期の幹事はその後も参加してくれています。

4. 卒業20周年の同期会

同期会は長らく行われていなくても何かのきっかけで始まり、その後活発に活動されることが多いものです。卒業20周年辺りの世代に同期会開催のきっかけ作りのお手伝いをしました。今年95期が開催されました。

5. その他

111期の「いのちの木」の9・11平和集会や食堂の林ご夫妻の引退式、トークリレー等にもFRとして、参加しお手伝いしました。

今後の予定ですが、上記の行事やイベントの他に次のような企画を検討中です。

1. JOB BANK(仮称、就職関連情報提供)

就職斡旋ではなく六稜同窓会の豊富な社会の先輩たちと学生の後輩たちをつなぐ企画を検討。

2. クラブOB会連絡会

運動部、文化部を問わず、盛んなOB会の連絡会の実施を検討。

3. 各期のMLやHPの担当者連絡会

現在はIT抜きに同期会はあり得ない状況です。各期の活動や工夫について担当者の連絡会の実施を検討。

4. FR委員会主催行事

六稜会館を使って、皆さんに楽しんで頂けるイベントを企画しようと思います。

以上のような活動をしておりますFR委員会です。若輩者ではございますが、若輩者ゆえにFRでございます。今後ともお力添えよろしくお願い致します。また、80期以降の方の参加をあらためてお願い致します。

六稜文庫=====

寄贈図書

44号以降に寄贈していただいた書籍です。

- ◆42期同期会(42期)編『稲友会記録』
- ◆藤部明子(98期)著『写真集 メモラフィリア』(ステュディオ・パラボリカ)
- ◆福井栄一(97期)著『ぼくいちびり～上方写真帖』(プラネットジース)
- ◆島本慈子(82期)著『倒壊～大震災で住宅ローンはどうなったか』(筑摩書房)
- ◆同『住宅喪失』(筑摩書房)
- ◆吉田節子(108期)『アロマテラピー検定試験1級・2級に一回で合格するための問題集』(BABジャパン出版局)
- ◆太田睦(89期)「育休父さん」の成長日誌(朝日新聞社)
- ◆同「オレだって育てる 子どもをつくる～サラリーマンの育児体験～」(講談社)
- ◆安保正一、水野一彦(78期)『環境にやさしい21世紀の化学～新版グリーンケミストリー入門』(株エヌ・ティー・エヌ)
- ◆藤本可芳子(92期)『世界が変わるレーシック』(株ごま書房)
- ◆平居義徳(63期)『新版・やさしいIEのはなし』(日本能率協会)
- ◆同『コストダウン50のチェックノート』(PHP研究所)
- ◆同『やさしい物流改善の本』(アルマット社)
- ◆同『物流コスト削減50のポイント』(PHP研究所)
- ◆福井栄一(97期)著『小野小町は舞う～古典文学・芸能に遊ぶ妖蝶』(東方出版)
- ◆美原紀華(91期)著『きみにありがとう 零下40度のシベリア捕虜収容所で交した約束』(グラフ社)
- ◆同『ずっと、らりるるれれ(花になつたかまきり)』(芳賀書店)
- ◆森南海子(64期)著『千人針は語る』(海竜社)
- ◆同『沖縄手づくり紀行』(海竜社)
- ◆福井栄一(97期)著『大阪人の「うまいこと言う」技術』(PHP研究所)

東京六稜会

第48回総会のご報告

神田 誠 (86期)

東京六稜会第48回総会が6月2日(木)、千代田区丸の内、東京駅から指呼の距離にある日本工業俱楽部で開催された。平成12年から行っていた改装が終わり、平成11年の総会から6年ぶりに日本工業俱楽部での開催となった。外観だけではなく、内装も古風で天井が高く趣きのある建物で、ほぼ改装前の雰囲気が残っている。

出席者は148名にのぼり、大阪から、ご来賓として母校校長(六稜同窓会名誉会長)の中垣芳隆先生、的場(旧姓高橋)栄子先生(86期)、六稜同窓会会长の山本次郎氏(62期)、六稜同窓会総務委員長の木村市三氏(73期)、広報委員長の富田昌宏氏(78期)、そして事務局の久保田静さん(73期)にご出席いただいた。

全体進行は、当番期である86期生(昭和49年・1974年卒業)が担当した。

第一部【総会】

午後6時、定刻どおりに第一部総会が開始された。

まず、志甫溥東京六稜会会长(66期)から同窓の皆が集うことを心から喜ぶとの主旨で開会ご挨拶があつた。次に、中垣芳隆北野高等学校校長に、ご祝辞と北野高校の近況について資料を使って次のようなお話をしていただいた。

「年1回の出席で4回目になるが、定年なので今回が最後になる。全国に5000の高校があるが、北野高校は仕事に前向きの人ばかりであり、教える側と教えられる側の息が合っている。今年は論より証拠ということで資料を持ってきた。平成13年と平成16年の比較になるが、学校教育診断票でみると肯定的意見が増えている。ま



た、京大・阪大・神大の合格者数が増えていく。」

続いて、山本次郎六稜同窓会会长からご祝辞と、戦後60年ということで、ご自身の体験を交えて、大阪に残っている戦争の痕跡の話、同窓会館の活発な利用状況、同窓会活動の状況(フレッシュ六稜委員会など)の紹介をしていただいた。

その後、黒岩暎一事務局長(75期)から、平成16年度会計報告原案について説明があり、原案通り満場一致で承認された。なお、司会は86期の渡辺(旧姓青木)邦子さんが担当した。

第二部【記念講演】

「Suica開発物語」と題して、(財)鉄道総合技術研究所でご活躍中の後藤浩一氏(86期)にプロジェクター映像を使って講演をしていただいた。当事者だから語れる裏話を交え、技術的な内容が素人にも分かり易いよう動画をうまく使った講演で、上野駅での試験に若い頃のご本人が登場している場面やタッチ式の試験機がコミカルな動きをする場面では会場内に爆笑が起つた。いまや日常生活になくてはならないものとも言える“Suica”がどういう経緯で生まれ、関係者の努力により成長(進化)し、世の中に出るまでの様子がよく分かるものであった。また、鉄道総合技術研究所の活動の紹介では、地下鉄日比谷線の脱線メカニズムの研究や新潟中越地震での新幹線脱線の話もあり、出席者は熱心に聞き入っていた。

鉄道への熱意がひしひしと伝わってくる講演で、終了時に会場から盛大な拍手が贈られた。



第三部【懇親パーティー】

会場を2階から3階に移し、86期の加藤望氏の司会進行でぎやかに催された。

まず、参加最年長の野田隆一氏（45期）のご挨拶と乾杯の発声で幕が開き、しばし歓談の後、10年前に当番期であった伊藤要一氏（76期）に当時を振り返ってのお話をしていただいた。また、この4月に東京方面の大学に入学された新会員にも自己紹介と今後の抱負を語ってもらつた。



その後、受付で配布された校歌の歌詞カードの番号による「くじ引き大会」が行われ、高級ワインやプロ野球観戦券等、多数の賞品が当選者に贈られた。豪華賞品の当選者には一言スピーチをしていただいた。先輩、後輩入り混じつて、会場中大いに盛り上がった。次回当番期（87期）の出席者全員の自己紹介があり、来年の総会に向けての抱負を語っていただいた。

最後は、母校元応援部団長・竹村二郎氏（73期）の指揮の下、校歌「六稜の星のしるしを」を全員で5番まで謳い上げ、東京六稜会の会長の志甫氏に激励のエールが送られ、幕を閉じた。



次回総会は、平成18年6月1日（木）午後6時から、今回と同じ「日本工業倶楽部」で開催される予定である。

■東京六稜倶楽部の実績

◆[第28回 4月20日]

「最近の生徒は勉強しているか？」

森本昌義（69期）さん。



ベネッセコーポレーション社長

「現在の生徒の学力」「学習時間」「英語教育」「保護者の事情」「教師の事情」「夜型が進む子供の生活」「ゆとり教育」などがテーマ。

◆[第29回 5月18日]

「ラスベガスを楽しむ～カジノ経営の面白さ」

泉祐彰（68期）さん

I&F CORPORATION 社長
ホテル、カジノ経営の楽しさ。日本人のカジノ、ギャンブルに対する考え方。



◆[第30回 6月15日]

「カリブ海から世界を見る」

谷川達夫（75期）さん

立命館大学講師、
愛知県企業庁アドバイザー

色々な国に駐在した
経験の中から、カリ
ブ海を中心の話題。



キーワードは、「クルーズ」、「要塞」、「きれいな
ビーチ」

◆[第31回 7月20日]

「ウコンの効用」

漆戸啓二（70期）さん

発酵ウコン（株）

社長

「ウコン」の原産からその種類、効用まで。



事務局より

事務局長 岡田一彦（65期）

会務報告

■平成17年4月23日（土）常任理事会

- 平成16年度決算報告及び平成17年度予算説明

- 個人情報保護法に伴う会則追加説明

- 16年度会館利用状況報告

- F R委員会16年度活動報告、17年度新企画説明

- 役員人事

■平成17年6月25日（土）常任理事会・理事会

- 平成16年度決算報告及び平成17年度予算説明

- 個人情報保護法に伴う会則追加説明

- 132周年総会説明（詳細は32ページ）

- 16年度会館利用状況報告

- F R委員会16年度活動報告、17年度新企画説明

- 会報発行の進行状況及び新企画説明と原稿依頼

- 東京六稜会総会報告及び東京六稜倶楽部開催報告

- 各期の不明者を少なくするよう学年理事に協力依頼

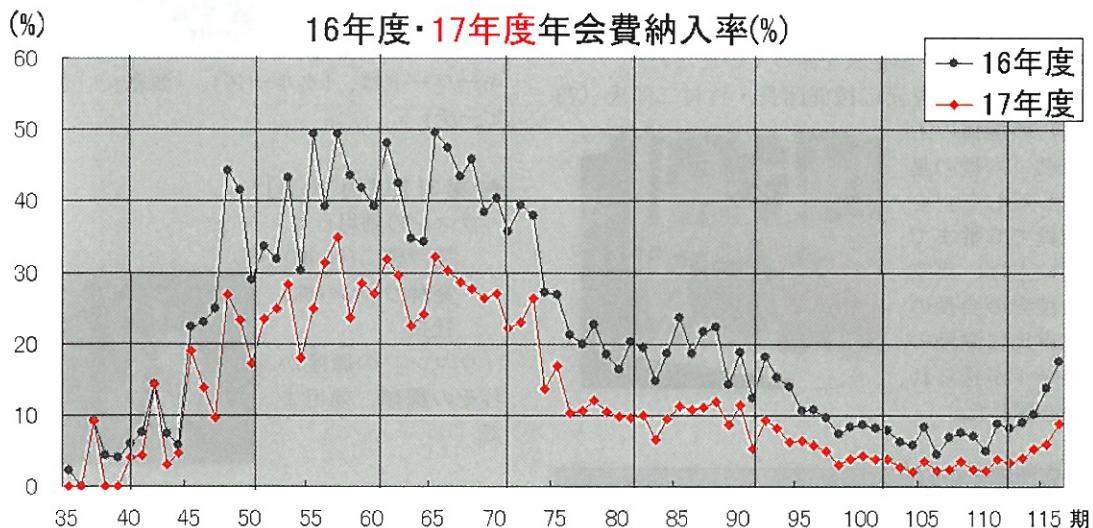
会費納入のお願い

六稜同窓会の総ての活動は会員の皆様からの年会費（3,000円）で、運営しております。

平成16年度は17,940千円（5,986名）の会費納入がありました。毎年21,000千円（7,000名）の予算を策定しておりますが、予算には達しないのが現状です。

5月の会報発刊時に用紙を同封させて頂きましたが、一ヶ月で2,900名の方から、9,000千円を超えるお払込を頂きました。早速のお払込、ありがとうございました。

7月末における期別納入状況は下表の通りです。今回も同封致しておりますので、未納の方は、何卒、よろしくお願い申し上げます。



茫々たる四半世紀

鎌田俊一（81期・本校教頭）

「うちの教頭は人生の半分を北野で過ごしている男でして・・・」外向けの場で私を紹介してくれるときの、学校長の常套のお言葉である。「人生の半分」には少し注釈が要る。国語の教員として黒板を背に21年、黒板を離れての3年に、黒板を前にしての3年を加えてようやく人生の半分である。

それはともかくとして、こうして今母校に長年勤められていることは望外の幸せではあるのだが、「へ～ッ」「ほ～オ」「ふ～ン」という聞き手の反応の真意は別として、「人生の半分」の持つ幾分「北野 命」の滅私奉公的な響きに、何かしら場違いな面映さをいつも感じてきた。聞き手の方々は、ひょっとしたら「在学中から北野を心から愛し学業・人物ともに優秀な生徒であった」と勘違いなさるのではないかといつも身を縮めた。

今、北野には15人の母校出身の教員がいる。その卒業生に順に「母校北野」を語らせようというのが、会報編集部の新しい企画だという。「北野」を語るにはまだ未熟、所詮は「私」を語るしかないと思い定めての「半生=反省」の記で、責めをお許し願いたい。

【黒板を前にして】

昭和41年の春、81期生として入学した。在学の3年間を1年間の歳時記風に押し縮めての回想を以前『年誌北野』に掲載した。そこから幾つかを抄録させていただくと



4月 クラブ紹介

当時は応援部主催（現在は自治会主催）の講堂行事。各部の紹介の後、応援歌・応援指導。旧制中学のパンカラの遺風を感じ、妙に嬉しか

った。その間1時間以上、ずっと団旗を捧げ持っている先輩がいた。更に嬉しくなって、終わった後舞台まで見に行つたのが、その後の人生の大半を決してしまった。部室に拉致監禁されること2時間。応援部入部の真相である。

1年宿題考查

春休み、合格祝いの旅行まで取りやめて準備した結果が散々。さほど高くもなかった鼻が完全にへし折られた。3年間の躊躇の始まりだった。

1年某先生の英語の授業

『Times』の社説集がテキスト。1行訳すのにも辞書と首っ引きでそれでもまったく意味不明。2時間かけて半ページがやっとの予習。それが授業では2ページも進むのだから、すぐに落ちこぼれた。『大学の教養課程用に編集～』という前文にプライドを擡られてなんとなく高尚なことを齧っている雰囲気だけは味わえた。背伸び癖の始まりだった。

5月 生徒自治会立会い演説会

ベランダ前の立候補者を取り囲むようにして、詰め寄る者、野次を飛ばす連中、総会屋もどき。雑然とした自由さの中の、ある種の熱気には度肝を抜かれた。おもろい学校に来たなというのが実感だった。飽きなかった。自治のかけらにせよ匂いがした。とはいって、そんな輪からするりと逃げ出して、楠の下でずっと語り合っているカップルもいたりした。

2月 断郊競走

当時は男子13kmの堤防折返しコース。長距離走者の自虐的でストイックな風貌に漠然と憧れて、自分なりに練習を積んで臨んだが、所詮ストイシズムだけでは勝てない。競輪で最後の上がり何百mかを“もがき”という。北野の生徒はみな最後で素晴らしい“もがき”を見せる。学業であれなんであれ、勝負と見るや、みなもがく。手を抜かないところがいい。

L H R (LONG HOME ROOM)

大学に火がついていた。みんな何かが変わることを望み、信じていた。高校にも変革の嵐が吹き始めていた。しばしば熱っぽい議論が担任

シャットアウトで行われた。勉強学校のお坊ちゃんにはなるまいとみな必死だった。議論に負けることは勉強で負けるよりも惨めだった。自分を模索し、嫌悪し、自分を見失いの連続だった。

卒業式

今ほどではないにせよ、簡素な式だった。感慨はなかった。自分がどうなるのかの不安が強かった。東大と東京教育大の入試が紛争のため中止された。しかし、それも自分を悲劇ぶる材料ではあれ、どうでもよいことだった。自分が何であるかさえ掴めない霧の中にいたのだから。もう北野の敷居を跨ぐことはあるまいと思って校門を出た。

【黒板を背にして】

新設校の教員として4年目、教師が天職だとの覚悟も定まらず、研究者への未練を引きずつて悶々としていた年の暮れに、縁あって北野で教鞭をととのお話をあった。

その頃までの北野は、北野に奉職し骨を埋めるといった気風がまだ色濃く残っていた時代で、誰それは○○先生の後任という言い方が普通にされる中で、私は生徒急増期の増員教員として肩身の狭い着任であった。母校で教えられることの歓びと不安の中で、緩やかながら教員としての自負と覚悟が出来ていったように思う。後輩を教えるにあたって、随分の気負いから、過度の要求もし多くのことを強いた。“北野”に一番苦しみられた自分であったからこそ、“北野の壁”は崩してはならないと、これは今でも思っている。北野で二度目の卒業生を送り出したとき、彼らに次のようなメッセージを贈った。

『君達は今日卒業していく。有り余る夢と期待に満ちた船出である筈もない。北野が暖かな帰港地としての懐かしさに充ちてはいないかもしない。しかし、北野が君達に与えたものは何だったか・・・。挫折、絶望、自己否定？何にせよ、恋愛、人生、自我、社会・・・自分の存在に関わる一切の間に責められ苦しんだ時期を麻疹の如く忘れてほしくない。あらゆる誠実さこそが青春なのだとしたら、その意味で人として風化せずに、いつまでも青春の中を生きしていくと願っている。時代はますます人に「処世の賢さ」を求めてくる。その陰に

「智」が隠れる。処世で躊躇するほど君達は愚かではない。だからこそ君達は処世に生きるべきではない。自暴自棄や自己嫌悪、自己否定の嵐の中に身を任せてほしい。嵐は時が来れば止む。そのときに己の中に何が残るか？どんな己が残るか。恐れないであがきつづけてほしい。人間は愚かでしたたかなものだ。その愚かさから目をそむけ賢く生きようとすれば「智」は離れていく。早くから自分の人生を見定めて終着駅に向かって早く楽に生き急がねばならぬほど人生はつまらぬものではない。人生には予約席も指定席も特急券も要らない。遠くを見はるかす鳥の眼も時には必要だが、地を這う虫の眼を失っていたらずに翼を求めるべきではない・・・』



【黒板を離れて】

教室・グランドから自分の身を引き剥がして3年、目の前に生徒がいない寂しさを今更に嘆いてはならないと言い聞かせる日々が過ぎた今、個々の生徒の具体的な姿が眼前にない分、今まで以上に、あるいは今まで見えていなかった“北野”的姿をしっかりと見定めなければならないと思っている。それを語るにはまだ至らざる我が身、与えられた紙数も尽きたことを口実に、後の日にということでお許し下さい。

ある感懷——節目の歳に

野邑公美子（75期・国語科）

人生の節目——ある年齢になると、それは人に懐旧の情を催させるものもあるようだ。

先日、一通の葉書が届いた。

ドイツにいる高校時代の友人からのものだった。

彼女は四十歳を過ぎて夫と死別。しばらくは失意の底にあったが一念発起して大学に入学。卒業後は憧れのドイツに留学して第二の青春を



謳歌している。

葉書には「高校の頃の私と違って、今はとても充実した毎日です。」とあった。

ふつと高校時代のことが浮かんでくる。しばし思い出に耽る。

その頃の大坂は中学からの越境入学が実質的にまかり通っていた時代であった。越境者が過半数を占めるような中学がある一方ではその逆の比較的のんびりした中学もあった。私の出身中学はそんな学校の一つで、そこからこの高校に来る者は少なかった。地方からは中卒者の集団就職が結構あった時代もあるが、この高校では当然のこと當時でも就職者は一割程度。男女比は二対一、男社会の価値観が支配していた。



高校の授業は、のんびりした中学時代を送り、塾の経験もない者には驚きの連続だった。進度が速い、難しい。とにかくカルチャーショックを受けた。本気で勉強しなければと、思い切って図書館に入ってみた。校門と

校舎の中間、生徒が登下校の際必ず通る場所にその入り口はあった。

カウンターの中の人が親切に対応してくれた。閲覧室には種々の事典・図鑑の類がぎらっと並んでいた。索引を繰ると調べたい本は殆ど揃っており、興味をそそる本が次々と出てきた。

それからは濫読もいいところだった。中でも、『史記』『リルケの詩集』、戦争関連の記録・写真集は、読み出し、見出したら止められなかつた。

そのうち高群逸枝の『大日本女性史』、ボーボワールの『第二の性』に触発され、同時に山本周五郎の『日本婦道記』の女性達の献身的な、しかし凛とした美しさにも惹かれた。一見相反するようだが、共に他から強制されるのではなく、自分で考え、行動している女性の生き方に関心が高まっていった。

書物を繙く。そこには様々な世界が広がっている。個人が体験できることには限りがある。しかし想像することはできる。戦争のむごさ、人生の深さ、喜び、悲しみ。書物はこちらが納得するまでじっと待っていてくれる。書物との対話は新鮮な喜びだった。

自習室、閲覧室は定時制の終わる夜九時頃まで開いていて、全日制の生徒も利用できた。定期考査中の休みには休日も開館されていた。カウンターの中には担当の人が常時いて対応してくれた。自分の部屋を持たない者にはこの上なく有難かった。誰にも邪魔をされない自分だけの静かな時間と空間を持つことができた。

二年の半ばには、もっと世の中のこと、人間のことを学びたい、私が私として生きることができ、精神的にも経済的にも自立した、やり甲斐のある仕事=教職に就きたいと思うようになった。大学に行きたいと切望した。しかし、家庭の事情でそれはそう容易ではないように思われた。学力以前の問題だった。策に窮し、悩み、涙したこともあった。やはり場所は図書館自習室であった。受験参考書の類も図書館を活用させてもらった。

幸いにも、私は大学で学ぶことができ、教員となり、四つの様々な高校を経験して今日に至った。平凡な細い一筋の道であった。そして私は今も無力で不器用な、小さな存在である。失敗と迷いを繰り返している。ただ、誠実でありたいと努めては来たつもりである。そんな私が今まで自分なりにやってこられたのも常にいい出会いに恵まれてきたお陰だとつくづく思う。

しかし、私を育んでくれたあの図書館は今はない。跡地は芝生となり、笹部桜の細木が数本植えられている。だが、私の心から消えることはない。

人生の一つの節目を迎えた今心から述べる。

有難う、お世話になりました。我が母校、我が六稜図書館。

新図書館はあの図書館から二代後のもの、場所も変わった。

冬の夜、新図書館一階の自習室に明かりが見える。机に向かう今の生徒の姿がある。

新企画

北野高校には、六稜生の先生も多く居られます。今号から、その先生方に現役時代を回顧していただきたいと思います。題して
「母校に還った六稜生」。懐かしい同期生が先生になっておられるかも。

同期会紹介

56期会は……=====

56期学年理事 緒方正名

旧制中学4年生の時（昭和16年12月8日）、眞珠湾奇襲による大東亜戦争の開戦を全校生徒が校庭に整列して聞き、異様な興奮を覚えました。56期は名簿によると、4修、5卒、277名が昭和18年3月に卒業しています。昭和20年終戦。国土は荒廃し慘憺たる光景を呈している時、軍関係の学校から、又学徒出陣で戦場におられた方々も歸ってこられました。あの戦後の混乱期には同期生の消息など全くわかりませんでした。10年、15年と歳月が流れ世の中がすこしちち着いた時、偶然、同期の方と出会い、話がはずんで「一回、同窓会をやらないか」ということになりました。

まず、名簿をつくること。これが一番の基本です。同じ小学校の卒業生、運動部関係の人、社会人となって交流のある人、いろいろの情報を集め不完全ながら、とにかく名簿らしいものをつくりました。幹事役はどうするか、内容をどうするか、いろいろ意見が出ました。なにしろ昔の友達だけに遠慮のない議論がつづき、とても満場一致というわけにはいきませんでしたが、とりあえず顔を合わせてダべるだけの簡素なものでスタートすることにしました。幹事役は当初廻りもちでという話もありましたが、仕事が忙しかったり突然転勤などで大阪を離れるものがあったり、とても定期的に同窓会を開くことは無理な状態でした。「大阪から動かん奴がよい」ということになって、小生にお鉢が廻ってきて、それ以来現在まで万年幹事となっています。

同期会の運営でも経費が必要なことはいうまでもありません。年会費を集めプールしていますが現在約70%の方が会費を送っててくれますので、不足分を自己負担することはありません。名簿はたびたび、つくりかえました。諸兄の情報を集めるのは大変な作業ですが小生は個人的に毎年全員に年賀状を出し、訂正の資料としております。

同期会は年一回、交通の便利な、きまったく所でやっています。最近は気候の良い春か秋、昼

の明るいうちに2~3時間という形式にしています。ダラダラと話ばかりでつまらんという方もおられ、よくわかるのですが、毎回いろんな催し物をするのは係になった方は大変負担になりますのでやっておりません。記念同窓会の時は講演を依頼したり、ゴルフ、旅行などやったことはありますが、同期会を継続して行うためにはあまり盛り沢山な行事を行うと続かなくなってしまうおそれがあります。又、東京地区は毎年、関西とは別に同期会をやっております。

出席できなかつた方の声を聞くため、ちょっとしたメッセージ、近況をはじめ、少しまとまつた原稿をあつめ、1~2年に一回は会報を発行しています。最近では昨年卒業60周年、喜寿記念号（頁数168ページ）を発行しました。

尚、会報の表紙は美術の岡島先生に旧校舎の絵を書いていただき、現在も利用させてもらっています。

我々56期は、六稜同窓会の副会長と会長を長い間つづけてくれた稻畑君。東京六稜会の会長で頑張ってくれた大山君。公認会計士の滝井君には監事を、そして小生は常任理事の一人として役員会の末席をけがしておりました。

如何にすれば若い期の方々に六稜同窓会を育てていただけることが出来るかを常に念頭においておりました。

56期生は戦前、戦中、戦後そして高度成長期からバブルの崩壊まで大変貴重な経験をしてきました。戦争を知らない人達が増えただけに平和を守るためにには、いろんな意味で力が必要だと最近しみじみ感じています。タイル張りの旧校舎も姿を消し淋しい感じはしますが、これが時代の流れというものだと思っています。

新六稜会館の建設に際して、56期は平成9年より1ヶ月百円玉1個を積み立てる運動をはじめ、平成13年までの5年間で、延651人、84万410円という金額を56期会として寄付することが出来ました。同期の方々の御協力に感謝しております。

現在、殆どの方は傘寿に達し、同期生は138名と半減してしまいましたが歳には勝てず56期会の活動もぼつぼつ幕引きの時が近いと思っています。後輩の皆さんのご健闘を祈ります。

63期同期会紹介

阪田喜秋（63期）

（昭和20年4月入学、同26年3月卒業）

（1）在学中の出来事、思い出

1) 前代未聞、全員無試験入学

昭和20年3月13日夜から14日の明け方にかけて大阪は米軍機の大空襲を受けた。丁度14日が小学校の卒業式で、被災地区では式が出来なかつた。この様な混乱や、全体に入学志願者が比較的少なかつた事も有つてか、大阪府下の中学校、女学校は、この年に限り全員無試験入学となつた。

2) 戦時体験、終戦

4ヶ月半の体験に過ぎないが軍事教練を受けた。

食料不足の為グランドが畑となり、又、府下の土地にも出かけて農作業をした。帰路、空襲で交通が寸断され、外泊の経験者もあつたやに聞く。

学校近くの家屋疎開（家屋密集地の中間家屋を取り壊し防火地帯を作る事）の作業にも従事した。



機銃掃射の跡がメモリアルウォールとして残されているが、休日の翌日登校して、この壁の近くの階段教室の机の厚い天板を銃弾が何か所か打ち抜いているのを見て慄然とした。当時は日曜でなく5の付く日が休日で、恐らく6月15日の空襲の時では無かつたか。十三界隈は一面焼け野原になつてゐた。初代の六稲同窓会館内部が焼けたが、何故か多数収納してあつた上質紙のロールが半焼けて残り、田村校長の命令で、各自がB5版程度の筆記用紙千枚に裁断した。短

期日にやり遂げるハードな作業であったが、紙不足の折から大変重宝した。焼けた紙の甘い匂い（砂糖の焦げた匂い）が妙に記憶に残つてゐる。

8月15日の終戦の日も休日であった。

占領政策上、教科書の具合の悪い所を墨で塗りつぶしたり、進駐軍（占領軍）軍政部指導で討論会の方法を習つた。その内に、学校の内外から校長の排斥運動が起つた。労働運動で、たしか21年2月1日に全国ゼネストが予定されたが、直前にマッカーサー元帥の中止命令が出た。しかし何故か戦時の思い出に比べて戦後のそれは印象が薄く、それだけ戦争のインパクトが強いと言う事か。

3) 学制改革で新制高校発足、男女共学、大手前高女と全面強制交流、又もや全員無試験入学

昭和23年4月から北野高等学校が発足し、同時に男女共学となり、大手前高等女学校と生徒の約半数が相互交換となつた。（市内では中之島、天満あたりで線引きし、以北を北野、以南を大手前の学区とされた）63、64期が全面交流の対象となり、前年度旧制？中学3年の63期は新制高校1年となり、高校無試験入学の形となつた。

翌24年、春の第21回選抜野球大会で優勝し、学校全体が沸き立つた。多湖、市村、慶留間の三君を始め同期の諸君が62期の選手の方々と一緒に出場した。22回大会にも連続出場しベスト4まで善戦した。25年5月、文化祭の直前に朝鮮戦争が始まった。

（2）同期会開催状況

毎年、4月第一土曜日に開催。尚、平成14年10月に卒後50周年記念同窓会を大手前高校と合同で行なつた。

（3）同期の著名人

今井道子（旧姓高野）（株）御そば処今井の大おかみ／多湖隆司 選抜大会優勝投手、元オール鐘紡監督／角地正純 息子2人と3人テナーで現役活躍／正岡徹 骨髄バンク理事長、日本臍帶血バンクネットワーク副会長 大阪府立成人病センター元院長／岡野事行 京大名誉教授（原子核物理学）京大原子炉実験所元教授／畠中正一 京大名誉教授（血清免疫学）京大ウィルス研究所元所長

年女・年男の 64 期=====

足立一郎(64 期)

「ゲームセット。芦屋高校優勝」とラジオの実況アナはたしかに言った。1949(昭 24) 年甲子園春の選抜決勝戦。延長 10 回裏、芦屋の攻撃、1 死満塁でレフトフライを打たれた。3 塁走者はタッチアップしてホームイン。ところが、2 塁走者がふらふらと離塁したのを見逃さなかつたわが北野の左翼手は 2 塁に送球、得点は認められず。こうなると流れはこちらのもの、6-4 で全国制覇を成し遂げた。

そんな年に私たちは北野高校に入学した。

入学といつても、前年に実施された学制改革で同じ校舎の併設中学にいたのだ。太平洋戦争終戦の翌年、男子は北野中学に、女子は大手前高女に入学、北野と大手前がお相手校となり交流することになった。

この学制改革のせいで、男子は 6 年間、女子は 4 年間を十三の学び舎で過ごしたことになり、他の普通の学年に比べて北野への思い入れがやや強いかもしれない。

当時は敗戦の混乱がまだ続き、生活水準は現在からは想像もできないくらい低いものだった。家計の厳しい生徒も多く、昼食時には弁当がなくてそっと席を離れていく生徒もいたりした。

いまでこそ当たり前のことが、男女共学というのは私たちにとって驚天動地のことだった。女子にとっては迷惑な部分もたぶんにあったと思うが、男子の多くは胸をときめかしていただろう。しばらくして現れた相合傘の落書きも懐かしい。

現実の懸案として女子トイレをどうするかが大問題になっていた。

先生方も、博学で教育熱心でそのうえ個性のある方が多く、私たちは、勉学にクラブ活動に精を出し、友情を育み、青春を謳歌して、おおむね北野の高校生活を満喫したのではないかと思う。

私たち 400 名余りが卒業して、各々選んだ道に進むと、環境は大きく変わるし、恋愛、結婚、子育て、学業、勤め先の仕事、家業、遊びなどに拘らうのは当然で、高校時代のことが等閑になるのはやむを得ない。それはどの期でも同じだろう。

卒業後 20 年目に一度集まろうやとの機運が生まれ、母校の校舎に集い、習った先生に頼んで講義をしてもらつたりした。

私たちの六稲六四会はそれから 5 年おきに開催、卒後 40 周年会からは、3 年おきになり、また 2 年おきにもなり、50 周年記念会は、2002 年、真新しい同窓会館で在学生の音楽部員の協力を得て開催した。

ことし 6 月、数学の石田千代之輔先生の叙勲のお祝いも兼ねて開いた会合には 115 名が集まつた。71~2 歳の、多くが年女・年男たちである。さすがにリタイア組が多いが、第一線で活躍中の人たちも結構いて頼らしい。

これらとは別に、東京在住組は、年 2 回の会合をもっている。東京と大阪でゴルフの交流もやっている。



同期には名の知れた人もかなりいる。

脚本家の夫君亡き後を継いで「部長刑事」のテレビ台本を長年にわたって書き続け、「夫婦善哉」など多数の脚本をものした土井陽子さん、服のリフォームで一世を風靡した服飾家でエッセイストの森南海子さん、朝日新聞編集委員を経て NPO 法人「スローライフ・ジャパン」の活動をしている同理事長の川島正英君、「エコロジー神話の功罪」などの著作のある異色の資源・環境・物理学者、植田敦君、大阪弁の保存と普及に努める「なにわことばのつどい」代表世話人の中井正明君、シャンソン歌手の川島弘君など。

六四会会长の川本晴男君（川本産業会長）始め経済界で活躍している、またはしていた仲間も少なくない。大学教授もかなり。

なお、高校教師などをしていた長崎隆英君の遺稿集「鶴窓」は、彼の才能を如実に示している。



同期の集いがなんとか続いているのは、事務局長、岩田江一君の長年にわたる献身的な貢献があるからだ。だれにもできないことだと思う。

他界した仲間も年々増え、立食パーティもだんだんしんどくなってきたが、親密感もどんどん増していく。

子供の時に戦争を体験して昭和から平成へと生きてきた私たち、残りの人生は長くないが、六四会ができるだけ続けていきたいという気持ちは一つだ。

92期同期会

住山真一郎（92期）

1 在学中の出来事・思い出

入学は昭和 52 年です。その前年に焼失した第 2 体育館に代わって昭和 53 年に新しい体育館と食堂が竣工しました。また、国立大学入試改革の嚆矢となる共通一次試験が昭和 54 年に始まり、その受験対策に右往左往した時代もあります。

社会的には、宇宙戦艦ヤマトの劇場映画が製作されて空前のアニメブームが到来し、高校野球では、浪商の牛島・香川のバッテリーが甲子園を沸かせ、母校で行われた野球部の対浪商戦には多くの見学者が集まりました。

2 同期会

昭和 55 年の卒業直前に各クラスで互選された年度幹事が、翌年の昭和 56 年に集まり、年度会として「六稜九二会」の立ち上げを決め、その際、継続的な同期会運営のために事務局を設け、同期生から運営会費を徴収してその資金に充てることなど、以後の同期会活動の骨格が固りました。そして、昭和 57 年に第 1 回目の同窓会を実施して以来、数年毎に同窓会を開いて

きました。近年では、平成 12 年（卒業 20 周年）、14 年、17 年（卒業 25 周年。写真）に同窓会を行なっています。

同窓会開催以外の同期会の活動で特筆すべきは、平成 7 年の阪神淡路大震災で亡くなった成宮久喜君夫妻の遺児のため、同期会報を通じて育成基金を呼びかけたところ、短期間に 100 万円を超える寄付が集まり、遺族のもとに届けることができました。

3 同期の著名人

東京大学法学部教授（憲法）の石川健治君。大阪外国語大学保健管理センター助教授で、ベンチャービジネスでも有名な梶本修身君。ラテンジャズのヴォーカリスト兼エッセイストとして活躍する八木啓代さん。「お化け」文学で知られる作家の林巧君。県立琵琶湖博物館でブラックバス問題など自然環境保護に取り組む中井克樹君。校内的には、母校で昭和 63 年から平成 10 年まで体育の教員をしていた篠崎友宏君。



「同期会紹介」新企画第 2 弾として、皆さんの期の活動や、著名な方を紹介させてもらいます。各号 5 期程度予定しています。

事務局に新人スタッフ

76期の橋本淳子です。昨年 5 月に永年勤務していた特許事務所を退職し、12 月から事務局のお手伝いをさせて頂いております。

今まであまり同窓会の行事にも参加した事が無かったのですが、今後は同窓会発展の為に、少しでもお役に立てるよう、努めますので、よろしくお願い申し上げます。



パーティレポート

六稜 65 期総会

65期としては総会を毎年開催とし、5年ごとにその総会を一泊で開催しております。

古希を過ぎたこの年度ですから、年を追って鬼籍に入られる方が増えていくのは悲しいことです、反面この総会への出席者が毎年増えていますが、大きな喜びなのです。

今年は6月4日(土)、65期としては同窓会館を使用するのは始めてのことでしたが、会館を



65期は昭和28年の卒業です。当時の恩師として稻葉憲一郎先生、山崎馨先生お二人がお元気にご出席くださいました。

全館使用し、総会、講演会、作品展、そして懇親会と128名の出席で大いに盛り上りました。



総会と併行して、同期生での作品展を地階ギャラリーで開催しましたが、素晴らしい作品の数々が展出され大いに感嘆の声が上がりました。

当初運営委員としては作品の応募には多少の懸念をもってはいたのですが、それは見事に覆され、絵画・書・ステンドグラス・陶芸・手芸品各種・句集や歌集、専門分野での出版物に加え、65期同人での俳句「句遊会」作品短冊群などがギャラリー狭ましとばかり展示されました。

総会講演としては、六稜会報44号に「ブリネル賞」受賞として紹介された江見俊彦君の、「北の国、南の国から」と題された映像駆使での80分間、ブリネル賞受賞の式場風景以外に世界各国での“貧困と教育”にまで及ぶ充実内容でした。

会館建設募金には募金者率トップであった65期ですが、募金後初めてこの会館に来たという同期生も居ました。彼らの声として、同窓会として多数を収容するホールとしては狭すぎるこ

とや、階段・エレベータ等の使用の不便性について多くの意見が出ていたことはここに申し添えておかなければならないと思います。

新原章弘(65期)

卒業50周年記念同期会

昭和30年(1955年)3月462名の同期生が卒業しました。今年2005年に卒業50周年を迎え、4月2日に六稜会館で記念同期会を開きました。石田千代之輔先生・福田博造先生がご参加くださいり130名の同期生が集まりました。在学時代から振り返れば北野高校伝統の文武両立を守りました。

1953年林弘一郎君が当時としては非常に珍しい在学中に留学試験に合格してラインベック(ニューヨーク)の国際的なキャンプである「キャンプ・ライジング・サン」に参加しました。運動部では体操部鈴木富美子さん(旧姓紅谷)が1953年・54年全国大会・国体に2年連続出場、1954年陸上部香江敏彦君が110メートルハードルで全国大会に出場・水泳部今田正子さん(旧姓北邨)が100・200メートル平泳ぎで国体に出場しました。バスケットボール部・ハンドボール部は全国大会・国体大阪予選決勝戦で破れ2位でした。

1954年3年生に進級した前後に5名の同級生が自殺するというショッキングな出来事もありました。



経済社会は繁栄もあり衰退も経験しましたが、462名はそれぞれ社会や家庭で活躍し現在はほとんどの人が一線より引退して第二の人生を樂

しんでいます。

1990 年 4 月 1 日より大阪市の鶴見緑地公園で開かれた「花と緑の博覧会」に最年長コンパニオンとして日高 穂さんが登場して話題になりました。

44 名の同期生が鬼籍に入りました。しかし、戦後 60 年間、日本は戦争をすることなく平和であったと思います。同期生は誰も戦争で命を亡くしていないのだから。

これからも時々集まりを持ち北野高校で学んだことに感謝し、楽しみを共に分かち合いたいと思います。

神宅寿昭（67期）

95期全体同窓会レポート

六稜同窓会 95 期は、1 月に同窓会準備会を開催してから 4 ヶ月間、行方不明者の確認、案内状の発送などの準備を進めておりましたが、やっとこの 5 月 15 日（日）、六稜同窓会館にて全体同窓会を開催する運びとなりました。

当時は 15 時からの開催だったのですが、14 時過ぎから開催を待ちかねた方達が続々と集まり始め、最終的に先生方 7 名、生徒 147 名の計 154 名の方々に参加して頂きました。1 階に設けられたクラスごとの受付では、お互い顔は見覚えがあるものの肝心の名前が出てこない人、全然変わらない姿に苦笑する人、あまりの変わりように一瞬誰だか分からぬ人など、あちこちで再会を喜ぶ人の声が上がり、早くも懇談の輪が出来ました。また、参加者の中には母校を訪れるのは卒業以来 22 年ぶりという方も多く、開会前に新校舎を見て回る人も多く見受けられました。

同窓会の開会に当たっては、まず初めに事務局から諸連絡がなされ、同窓会役員に変更があった件、今後 5 年に 1 度、全体同窓会を開催していく件、また情報保護法の観点から 95 期の名簿は作らない件等の説明がなされました。特に名簿に関してはプライバシー保護の観点から他目的への流用はしないこと、連絡先を掲載して欲しくない場合はその旨事務局に申し出て欲しいことなどの諸注意がありました。

続いて今回の同窓会に駆け付けて下さった先生方のご紹介と挨拶に移り、開会時点では会場に

見えられていた溝脇先生、原田先生、口村先生、藤尾先生の先生方から一人一人、95 期の生徒の印象、最近の状況などを語って頂きました。原田先生以外は既に現役生活を引退されておられましたが、どの先生も大変お元気そうで、20 年以上前の教壇のお姿をそのまま思い出すことができました。挨拶の終わりに藤尾先生のご発声で乾杯がなされ、楽しい歓談の時間に移りました。

同窓会館の 3 階ホールに配置された立食形式のテーブルは開会時点ではほぼ満員となり、昔の記憶とお互いの名札を頼りに人混みをかき分け、知っている顔を見付けては近況と昔話に花が咲く状態となりました。飲み物と料理については近くのプラザオーサカからケータリングで手配しましたが、みなさん料理にもあまり手を付けられないほど歓談が大いに盛り上がり、結局 17 時半までの予定を若干オーバーしてしまいました。



同窓会の最後には、後から来られた 3 名の先生方の挨拶がありました。松下先生、上原先生、緒方先生が順に近況等をお話になられ、特に緒方先生には、「40 歳はまだまだこれからしたいことができる年齢、仕事も趣味も何でもトライしてみて欲しい。」と暖かい励ましのお言葉を頂戴しました。最後に緒方先生の一本締めにより、95 期の 22 年振りの全体同窓会が無事お開きになりました。

この後、二次会は 90 名程で近くのプラザオーサカのバー「北野」にて、また三次会は 40 名弱で駅前の居酒屋白木屋にて、最後までお付き合い頂いた原田先生とともに、尽きぬ話で心行くまで懇親を深めました。

西尾雄大（95期）

トピックス

「殉難乃碑」に献花

昭和 20 年 6 月 15 日、学校防衛に当たっていた当時二年生（62 期）は折からの大空襲で、池田彰宏、中島要昌両君を失った。それから 60 年、62 期同窓生一同（出席 54 名）は両君の命日に当たる 6 月 15 日「殉難乃碑」の前に集まり献花式を行った。この日は中島君のお姉さん田中宏子さんと妹さん山下永子さん（63 期）も出席された。碑の前には当時中島君が被っていた焼夷弾が直撃し大きく凹んだ鉄兜が置かれ、その時の悲惨さを生き生きと物語っていた。この鉄兜は中島君のご遺族より同窓会に寄付され、展示室に置く予定である。

献花式では山本次郎同窓会長から当時を偲ぶ挨拶。ご遺族の献花。原壽治君の代表献花、一同黙祷し、「両君の靈、安かれ」を祈った。

「殉難乃碑」は「国を愛し、北野を愛し、体を寄せ合ってお互の命を守ろう」とした当時の若者の心の支えであり、62 期生一同はそうした気持ちが何時までも「北野という学校」の中に生き続くことを願っている。

引き続いての「六二期同窓会」では山口宗男君の卓話「北野テニス部の思い出」。昭和 22 年「全国中等学校テニス大会」でシングルス優勝という栄冠を勝ち取るまでの苦労（馬珍こと長谷川先生の指導でテニスコート作りから始めたことなど）を淡々とした調子で語った。



「選抜野球優勝」の陰で当時あまり目立たな



かつた快挙の思い出話は皆の喝采を受けた。

会場を「ホテル・プラザ・オーサカ」に移しての懇親会では佐藤功君の発声で「殉難乃碑」の事や最近亡くなった南慶一君はじめ友人達を偲んで「献杯」。あと横浜から参加した石川周一君、入江則嘉君達が近況や思い出を語り、盛会裡に閉会した。

藤田秀昭（62 期）

剣道部再建

50 周年記念祝賀会開催

敗戦後 GHQ により剣道が禁止され、部員も 61 期生の頃にはラグビーワンなど他のクラブへの移籍を余儀なくされました。そのため剣道部の OB 会は 62 期から 68 期までが空白になっています。剣道部が復活したのは昭和 30 年（1955 年）4 月、現在剣友会の会長を務める長東達也さん（69 期）が城内俊之さんと出会い、道場も防具も部室もないところから再び歴史と伝統を今日へとつなげました。

そして戦後剣道部の OB 会は平成 9 年 12 月 30 日の六稜剣友会発足とともに、数々の栄光を刻んできた戦前の OB 会と合流、以来現役活動支援、毎月の合同稽古会と 7 月の第一日曜に開催されてきた桃陰剣友会（天王寺高校剣道部 OB 会）との親善交流試合、12 月 30 日の忘年懇親会などを続けてきました。

剣道部が再建されて 50 年の節目を迎えた本年 7 月 3 日（日）には、午前に剣友会の総会、午後は剣道部現役による対天高戦、OB 交流試合（大熱戦の末、同勝数、本数勝ちにて六稜剣友会の勝ち）に引き続き再建 50 周年記念祝賀会が六稜ホールで開催されました。長東会長の挨拶と物故者への黙祷に引き続き桃陰剣友会の岡本隆彦会長、中垣校長先生からご祝辞を賜りました。



今年から現役剣道部をご指導いただいている石川満先生、前顧問の尾島泰治先生のご紹介に引き続き、記念品として学校に寄贈されたホワイトボードの目録が長束さんから校長先生に手渡されました。式典後の懇親会は戦前剣道部OB会を代表する稻本満寿雄さん（54期）の御発声で幕を開けました。

歓談の中、映像で振り返る六稜剣道部の歴史が上映され、戦前先輩の青春時代の写真や剣友会発足時やこれまでの桃陰剣友会との交流などの半世紀にわたる懐かしいシーンが会場を沸かせました。宴のフィナーレには親善交流試合の交流杯が次年度開催校の天王寺に引き継がれ、両校の益々の発展と交流の継承を誓い合い、校歌「六稜の星のしるしを」を合唱、閉会の辞は松島萬三孝副会長の「北野高校剣道部のDNAは永遠に受け継がれる！」という力強い挨拶をもってお開きとなりました。



石倉秀敏さん（84期）の司会で楽しく進められた祝賀会の〆には一同の記念写真が石田肇さん（75期）により撮影されました。剣道を通じた縦の糸が54期から117期まで一本につながり感動に満ち溢れた記念すべきひと時でした。

六稜剣友会事務局長 徳岡浩二（92期）

ラグビー・ゴールポストが母校に寄贈されました

7月2日（土）、六稜ラガーカラブ（北野高校・中学校ラグビー部OB会）の年次総会が、北野高校において開催されました。

総会後、恒例となった現役選手とOBとの交流試合もあわせて行われました。昨年度は部員の減少により、特別の少人数試合への出場を余儀なくされた年でしたが、今年は13人の新入部員があり、夏の合宿を乗り越えて、大いに修練を積み、立派なチームとなりそうな予感があります。現役選手の意気込みも素晴らしい、熱

く正月の花園出場を‘約束’してくれました。多数のご声援をよろしくお願ひします。

また、当日、総会に先だって、六稜ラガーカラブから母校に対して、既存のものに代えて一段と高いラグビー・ゴールポストの贈呈式が行なわれました。



これは、昭和32年から昭和62年まで北野高校で教鞭をとられ、ラグビー部の部長先生として多くのプレーヤーを育て、また、日本協会の国際レフリーとしても長く活躍された野々村博先生が、今春、大阪経済大学教授を最後に教職を退かれるにあたり、先生が長い教職人生の中で最も楽しい思い出を残された北野高校に対する感謝のお気持ちと北野のラグビーが永遠に続け、との願いを込めて頂いたご厚志をもとに、六稜ラガーカラブが寄贈したものです。

贈呈式に臨んで、先生は「高志を平常とすべきを六稜ラガー健児に希求して」という言葉を添えて、このラグビー・ゴールポストに込めた想いを次のように述べられました。

「北野高校は、大阪の第一中学として創設されて以来、大阪を代表する学校として校舎も施設などもトップクラスを誇ってきました。私が



北野で教わったことは、‘一流であれ’と言うことです。世界へ羽ばたくであろう北野の生徒には、クラーク博士の‘少年よ大志を抱け’という言葉の心を伝えたい。

戦時に生徒の勤労奉仕によって造られた北野の竹筋コンクリート製の50mプールが老朽化し、府教委から再三、改築を求められた時のことです。指定された大阪府の統一基準の25mではなく、あくまで50mプールにこだわったのは当時の体育主任であった平石亮三先生でした。50mのスケールに慣れた北野の生徒は普通の25

mプールには臆することもないでしょう。



同様に、六稜ラガークラブの諸先輩が、今回、北野のグランドに12mのラグビーポストを寄贈されたのもこの志があったからです。低いポストを狙ってのキックは目標値も低くなりますが、12mのポストなら仰角が一段と高くなります。越えるバーの高さは同じでも、蹴り上げる心は自ずと宇宙へ広がるのではないか。「燕雀安知鴻鵠之志」です。北野の生徒には、日頃から大阪・日本ではなく世界を視野に入れた高い志をもってほしい。」

この言葉を受けて、中垣校長先生からは、「このメッセージを銘板に刻み、永く伝え残したい。」との謝辞がありました。

・高志を平常とすべきを

六稜ラガー健児に希求して'

この言葉は一人、'六稜ラガー健児'だけに向けられたものではありません。全ての六稜健児、がこの高くそびえるゴールポストを仰ぐ度に、この言葉を噛み締め、北野で学べることの誇りを胸に、大きく世界に想いを馳せてほしいと思います。

最後に改めて、
このような貴重な
機会を頂いた野々
村先生に深く感謝
いたします。

(※野々村先生の
ご挨拶の全文は六
稜Webに掲載し
ています。)
蜷川善夫(85期)



左は以前のポール
右は12メートルポール
表紙写真もご覧ください

万葉バス旅行記

わたしは昭和26年(1951)の4月から昭和38年3月まで、国語科教諭として北野高等学校に勤めました。その12年の間、御縁をいただいた生徒諸君の数は、五期にわたって二千を越えていました。なかでも68期の皆さんとは格別に深い御縁があつて、求められるままに、万葉集の歌に詠まれた故地をあちらこちらとめぐってきたのです。はじめのうちは日帰りのバス旅行でしたが、それがいつしか大規模になり、回を重ねること十三になりました。これも廣瀬貞雄君をはじめ、優秀な、親切な幹事さんたちのお蔭なのです。ここにその十三回の行先、時期などを列記して、なつかしい思い出のよすがにしたいと思います。

第1回 奥琵琶湖、余呉湖

昭和60(1985)年10月26日 参加者44名

第2回 恭仁京址、高円山、田原

昭和62(1987)年5月10日 参加者39名

第3回 兵庫県御津町室津

平成元(1989)年10月28日 参加者26名

第4回 斑鳩、纏向

平成3(1991)年5月12日 参加者39名

第5回 大字陀、吉野

平成4(1992)年10月25日 参加者41名

第6回 飛鳥

平成6(1994)年5月15日 参加者51名

第7回 備中国分寺、神島、鞆浦

平成7(1995)年11月12日

第8回 遣唐使の道をたどる 西安(唐の長安)

「この第8回は山崎先生の古稀、68期生の還

暦を祝って泊まりがけの大旅行となり、また、

高校時代になかった修学旅行を楽しんだ」

平成9(1997)年9月19日~23日

含元殿址、曲江池址、大雁塔

第9回 遣唐使の海路をたどる 志賀島、

福江島三井楽(万葉故地の西限)

平成11(1999)年5月21日~23日

第10回 万葉対馬の旅 遣新羅使をしのぶ

平成12(2000)年11月10日~12日

第11回 万葉東北の旅 黄金山神社(万葉故地の北限)、多賀城、真野草原(万葉故地の東限)

平成14(2002)年5月11日~13日

参加者 43 名

第 12 回 万葉南限の旅 江田船山古墳、阿久根市黒ノ瀬戸（万葉故地の南限）、坊津町鑑真上陸地

平成 15(2003) 年 11 月 8 日～10 日

第 13 回 万葉越後の旅 弥彦山（万葉故地日本海側の北限）、糸魚川（万葉翡翠の歌）、高岡（大伴家持）

平成 17(2005) 年 5 月 17 日～19 日

参加者 42 名

第 14 回 山口県方面を予定 平成 18 年秋

去る 5 月の第 13 回では、新潟市の會津八一記念館を経て弥彦山に登り、翌日は出雲崎の良寛堂を経て糸魚川に至りました。そこは出雲國風土記に登場する翡翠の精、ぬながはひめ（奴奈宜波比売）の故郷であり、万葉集に載る翡翠の歌（巻十三、三二四七）が生まれたところです。古事記にも「こし（高志）の国のみなかはひめ（沼河比売）」と見えています。掲出の写真でも、蓮台寺 P A に立つそのお姫様の像が中心になっています。



第 8 回以後は参考資料が多くなりましたので旅行が近づいたころにホテルの一室を借りて、万葉集や古代史の勉強会をしてきました。また、旅の終わりが近づくと、この次はどこに行くのですかという質問が必ず出てきて、さびしくも楽しい気分が湧くのでした。旅も旅の前後も楽しい、すばらしい研修旅行に、わたしは恵まれています。皆さん的好意と熱意に支えられながら、八十歳の体力が続く限りは、この万葉の旅を続けたいと願っています。幹事さんたち、なにとぞよろしく。

山崎馨（旧職員）

69 期と 78 期の囲碁対抗戦

69 期と 78 期の囲碁対抗戦を 11 月 6 日（土）13 時～17 時 30 分、六稜会館 1 階エントランスホールで行いました。双方 10 名ずつの選手が出て、各自対戦相手を変えながら丁々発止と 3 局ずつ打ちました。

結果は、1 回戦は 6 勝 4 敗で 69 期の勝ち、2 回戦は逆に 6 勝 4 敗で 78 期の勝ち。ここまで両者譲らず全くのイーブンでしたが、3 回戦は敬老精神が働いたか 7 勝 3 敗と 69 期に傾き、結局 2 勝 1 敗で 69 期の勝ちとなりました。

個人成績では、69 期の坂野、弘田、中田、門坂の 3 名が 3 戰全勝して氣を吐きました。

対局のあとは十三栄町「がんこ寿司」に移って和気藹々、懇親の実を挙げました。次回は 78 期からの果し状を受けて開くことになりました。

出場者は次のとおり

【69 期】山口能昭、坂野勝、有光友治、稻森久彦、弘田韶宏、中田洋、荒井徹、門坂清吾、喜多叡史、善積武典

【78 期】田原民人、横井聖一、足立稔、大橋友紀、藤田茂、家次昭、馬瀬寛、飯田昌弘、伊井治夫、小林一郎

69 期は、平成 11 年 12 月に囲碁の会を結成、新北野中学前の「囲碁サロン塚本」で毎月 1 回例会を開いてきましたが、六

稜会館の完成に伴い平成 16 年 1 月からは同会館で行うようになりました。現在メンバーは 12 名です。

78 期は、平成 10 年 1 月より年 2 回の合宿旅行で若狭のカニ、琵琶湖のアユ、白浜の温泉など堪能しながら腕を磨いてきました。メンバーは 17 人です。最近は、仲間の家で道場を開き研鑽を重ねております。

有光友治（69 期）

「先輩に花を持たせて悔しがり」

六稜史上初めての囲碁対抗戦は、69 期が制した。敬老精神、友好第一という声もあったが、実力の差であろう。

接戦につぐ接戦で、お互い自己申告した段級



がサバを読んでいなかったことも判明、さすが六稲健児のフェア精神の面目躍如というところ。78期はリベンジを69期は返り討ちを誓つて懇親会へ。

十三栄町「がんこ」では、舌戦ほぼ互角。てっさ、てっちりをあつという間に平らげ、胃袋も両者譲らぬ健啖ぶり。一人3局打ち、緊張でカラカラになっていた喉にビール（アサヒ）がうまかったこと。寺田、栗井、平石、重石といったヌシの様な諸先生の思い出やネット碁の楽しみ方、仕事の話など話題は尽きなかつたが、8時前に散会した。

それにもしても、9年後に我々もあのように、ふさふさとした髪を持ち、タフで優しくてボケていない老熟期を迎えることができるだろうか。メンバーの後ろ頭を見ながら、心配に思った。

足立稔（78期）

この原稿は44号に掲載予定でしたが、遅れました。お詫びいたします。

また、44号20ページ「マスターズ甲子園」の執筆者名が違っております。下記のごとく、お詫びと共に訂正いたします。

＜誤＞高田義弘（93期）→＜正＞中本圭一（97期）

六稲グッズをどうぞ

同窓会では、六稲の雰囲気がいっぱいの六稲グッズを用意しています。同期会の記念品として、また机上に青春の想い出の品を置いてみてはいかがでしょうか。

◆ 「130周年六稲同窓会名簿」

B5判1016ページ4,000円申込番号MEI

◆ 六稲校章ペーパーウェイト

6×4×2センチ 1,000円申込番号PWT

◆ 「六稲百三十年」

B5判127ページ 2,000円申込番号130

◆ 新旧校舎ポストカード

写真11枚、絵4枚 1,000円申込番号PSC

◆ 昭和校舎タイル

18×18センチ 5,000円申込番号STL

◆ LAST SHOT

昭和校舎写真8枚 500円申込番号LST

◆ 六稲会館・新校舎スケッチ

絵はがき10枚 500円申込番号PSS

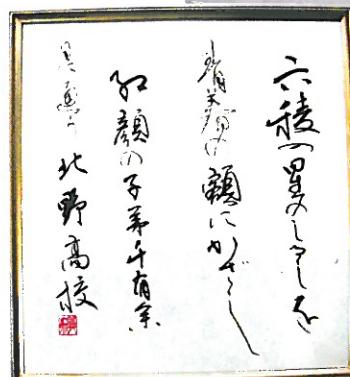
絵画と書の寄贈

65期の、中元さんは油絵を、また林さんは校歌（5番まで）の書を母校に寄贈されました。



中元慶子さん
(行動美術会友)

油彩『春灯』
(130号)



林義章
(義象)さん
『六稲の星の
しるしを』
墨滴会・正筆
会常任理事、
日本書芸院一
科審査員

六稲会館1階トイレに

『ドライヤー』

67期の50周年記念として、男女トイレにハンドドライヤーを寄付していただきました。ぜひご利用下さい。



母校の窓

■平成 17 年度全国大会・ 近畿大会出場激励金

【団体将棋部】=====

●平成 17 年度全国高等学校

総合文化祭団体部門

高柳 徹(3年)

【山岳部】=====

●第 49 回全国高校登山大会

<12 年連続出場>

[男子] 樋口真志(3年)・古山達大・竹田雄一・谷田俊(2年)

【陸上競技部】=====

●第 58 回近畿高等学校

陸上競技対校選手権大会

[女子 4×400m リレー] 千熊英津子(3年) 鈴木貴子・植野恵梨子・竹山香奈・俊野祐子・益田美佳(2年)

[女子走高跳] 鈴木奈美(3年)

●平成 17 年度全国高等学校総合体育大会秩父宮賜杯第 58 回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

[女子走高跳] 鈴木奈美(3年)

●第 73 回近畿陸上競技選手権大会

[女子 400m] 鈴木貴子(2年)

[女子 4×400m リレー] 植野恵梨子・白石晴子・鈴木貴子・竹山香奈・俊野祐子・益田美佳(2年)

[女子走高跳] 鈴木奈美(3年)

【男子バレー部】=====

●平成 17 年度近畿高等学校バレー ボール優勝大会第 58 回近畿 6 人 制バレーボール高等学校男女選手 権大会

【ラグビー部】=====

●ジャパンセブンズ 2005 高校の部 近畿ブロック選抜選手

吉田 佑(3年)

●第 3 回関西少人数校ラグビー交流 大会近畿選抜推薦選手

清水直樹・吉田 佑(3年)

※以上の団体及び個人に対して、
規定に従って激励金が授与され
ました。有難うございました。

■表彰報告

平成 17 年度 6 月末現在、外部表
彰を受けた活動をご報告致します。

【団体将棋部】=====

高柳 徹(3年)

平成 16 年度 北野高校文化活動振興賞を 受賞された皆さん



ケント地区からの派遣団が来日しました。派遣団はケントウッドおよびケントレイク高校からの生徒計 4 名(男子 2 名、女子 2 名)とレイク高校のディギ先生です。昨年と同様に、レイクの姉妹校である阿武野高校、次いでウッドの姉妹校である本校、そしてその後、両校の卒業生(本校は 117 期生 2 名)宅にステイしました。

本校に来校する初日となった 6 月 29 日は、昼休みに全校への紹介が予定されていましたが、雨のため、放課後に多目的ホールに変更して行いました。翌 30 日の放課後には、ESS、オーケストラ、コーラス部の協力により、音楽室で生徒主催の歓迎パーティーがあり、楽しい一時となりました。

限られた日数でしたが、授業も英語、音楽、美術、体育、理科、数学などに参加しました。卒業生とも短い日数でしたが有意義な交流ができました。

長くこうした形態での交流を続けておりますが、改めてホストファミリーの皆様のご支援、ご協力の大きさを感じました。お礼申し上げます。

■平成 16 年度北野高校 文化活動振興賞受賞者

平成 14 年度・15 年度と 2 年連続で受賞者のなかった北野高校文化活動振興賞ですが、16 年度は 2 つの団体(個人)に対して賞が与えられました。

117 期生の末包明日香さんは、2 年連続全国英作文コンテスト優秀賞受賞という功績が評価されました。単年度で最優秀賞を受賞した生徒は過去にもいましたが、2 年連続受賞は初めてです。

吹奏楽部打楽器パートは、大阪府吹奏楽連盟主催のアンサンブル・コンテストに出場。1・2 年生(118・119 期) 7 名で R. マイスター作曲「タクジム」(打楽器 7 重奏)を演奏して金賞を受賞し、大阪府代表に選ばれ関西大会に出場しました。関

■国際交流活動のお知らせ

6 月 23 日~7 月 7 日、アメリカ・

西大会での成績は銀賞でした。

なお、振興賞の表彰式は、六稜祭当日（6月12日）校長室において行われました。

●末包明日香（117期）

[実績] 全国英作文コンテスト2年連続優秀賞受賞

●吹奏楽部打楽器パート

川合美希・仲辻和代・橋本このみ・鰐淵 遥（118期）・小守亜依・武本祐祐・松室祐美（119期）

[実績] 第31回大阪府アンサンブル・コンテスト金賞受賞 大阪府代表として関西大会出場（関西大会では銀賞受賞）

以下北野高校 WEB ページより

■部活動掲載データ

（2005年7月10日現在）

文化部・同好会：22団体 活動状況

★E.S.S——

週一回、ALTのフランチャスカ・ギスト先生と一緒に、楽しく活動しています。★もうすぐ、New Years Partyをする予定です♪みんなでCookingをしようと考えています！新しく英語の本『Catch me if you can』を買ったので、興味のある人は是非 ESS club のぞきにきて Ne ★待ってま～す！

今年度は週に2回程度、ALTのGist先生と3FのLL教室で活動します。去年度のように楽しくパーティーもしながら、今年からは本格的に英会話を学んでいきたいと思っています。そして、スピーチコンテストにもどんどん挑戦していきたいと意気込んでいます☆外国人の人と文通もしていきたいです。

また、本校生の誰もが気軽に来れるような雰囲気も作っていて、みんな楽しめるような企画も考えています。英語は奥が深いぞお～ESSに来たら、いろんな発見があるよ♪♪fluentlyに英語をしゃべれる日は果たして……Come and Join us !

★囲碁・将棋——

現在、部員4名で活動中です。強豪部員もちらほらいますが全員兼部なので都合が合わずなかなか活動できません。再び強いクラブを作るためにあなたの力が必要です。あなたも、囲碁・将棋を始めてみませんか？特に一年生の方！！経験は問いません！！

活動場所は地学教室、活動時間は昼休みです。

★映画研究——活動休止中

★園芸——

本年は部員がかなり増え、17人になりました。しかし、女子が少ないので、女子部員を随時大募集しています。（特に1年生の方！！）去年は、アネモネ・チューリップなどの栽培に加え、作ったサツマイモを、調理して食べました。今年は花に加え、ニンニクの栽培などを計画しています。北野高校をたくさんのお花で埋め尽くすに協力してくれる方は、ぜひ園芸同好会へ足を運んでください。（入部希望者は、L L 教室の野口先生・教員室の加藤先生まで）

★演劇——

現在、部員は2名です。

2005年の六稜祭では多目的ホールにて公演を行いました。題して『札場健人 一人旅シリーズ 一人十色』です。演目はイッセー尾形さんのキャンプ教員、ボルボ、最後に次にする芝居の予告編ということでライトセーバーを片手に舞台上で切りあい（？）をしました。キャンプ教員、ボルボは一人芝居でした。

今回の公演では照明・音響・舞台監督など大変な役割をいろんな方に協力していただいた結果、成功しました。手伝ってくれたみんな、応援に駆けつけてくださった先輩方に本当にありがとうございました。ちなみに予告編をしたと書きましたが本編を作るかどうかはまだ決まっていません。

また秋ごろにもう少し小さいところで公演をする予定です。

★オーケストラ——

私達オーケストラ部は1年生20名、2年生22名、3年生24名で、現在は1・2年生42名で活動中です。

より美しい演奏ができるように、毎週月～土に音楽室にて練習しています。

♪〈最近の活動〉♪

☆4月19日 新入部員歓迎会

☆6月12日 多目的ホールにて第58回定期演奏会（六稜祭）

ヨハン・シュトラウス2世作曲 こうもり序曲

ラヴェル作曲 マメールロワ

ベートーヴェン作曲 英雄

ヨハン・シュトラウス作曲

ラディキーマーチ

#〈ホームページ紹介〉♪オケ部のホームページです。楽器紹介や、今後の演奏予定等があります。ぜひ一度遊びに来てください。

http://www.geocities.jp/kitano_o

rch/

★化学研究——

最近の活動は、光触媒、振動反応、ヨウ素デンプン反応各々の研究等です。

また、近く、化学ラボを実施する予定ですので、中学生の方は奮ってご参加ください。

★コーラス——

4月 音楽系クラブ新入生歓迎演奏会

6月 六稜祭

• Hale Holy Queen（「天使にラブソングを・・・」より）

• America（「ウエストサイドストーリー」より）

• スーパーカリフラジリストイックエクスピアリドーシャス（「メアリーポピンズ」より）

• さくら（森山直太朗）
ダンスも交えて、大変盛り上がりました。

六稜祭後、3年生の引退により部員が減ってしまいましたが、以前と変わらず毎週月・火・木曜日に音楽室横小部屋で活動しています。

只今、部員増加を目指して勧誘活動中！！

色々と計画はありますがあくまで計画なので内緒。

1mgでも興味をもたれた方は、是非聴きに来てください。

★写真——工事中

★書道——

書道部は1年19人、2年16人の計35人で書道教室で活動しています。今年は去年よりも、積極的に活動しようと考えています。

去年と同じく合氣道部と兼部している人が多く、純粋な書道部員は少ないのですが、みんな真剣に活動しています。

書道は合氣道と通じるものがあり、集中して書くことによって得られるものがあります。そしてその結果、書道の技術も精神的にも成長できます。今年の文化芸術祭では、いつもとは少し変わった企画を考えています。また、練習を積み重ねて、一人一人がより深い作品を展出できるようがんばっていきたいです。興味を持った人は是非見に来てください。

★新聞——活動休止中

★吹奏楽——

私たち吹奏楽部は校内最多の部員数を誇る、元気いっぱいの明るいクラブです。よりよい演奏を目指して、個人個人が日々技術の向上を心がけています。

主に多目的ホールで練習していますので、ぜひお立ち寄りください。

6月12日 六稲祭「古畑任三郎のテーマ」「空も飛べるはず」他

6月19日 東淀川高校・豊中高校と合同練習（本校にて）マーチ「春風」

★ストリートダンス——工事中
★生物研究——

現在部員3年生1名、2年生2名、1年生1名で引き続き組織培養を中心に行っています。冬から春休みにかけて水鳥調査をしました。文芸祭で発表を行いました。

今現在、部誌「LUPPE」40号の発行を目指しています。2003年春に発行した「LUPPE」39号はまだ在庫があるので、郵送を希望される方はご連絡ください。

★地学研究——

現在部員が3年生1名、2年生2名、1年生は・・・まだ入っていませんが細々ながらも活動しております。沈滞化した研究系クラブの活性化をはかるべく、新入部員を募集しております。

2005年7月までに行った活動：

六稲祭での天文台開放・・・曇天のため天体を見ることはできませんでしたが、皆さん結構楽しんでおられたのではないかと思います。

☆鉱物を見る・・・知的好奇心がぐすぐられるものです。

☆年輪の研究・・・地学研究部顧問

である吉田先生が10ばかりの丸太をもらってきて下さったので年輪と理科年表をてらし合わせて気候などの影響をどれだけ受けているかを調査してみようということになりました。現在進行中です。

☆合宿・・・8月2~4日まで、姫路にある「星の子館」で2日間の天体観測合宿をしました。

★美術——

5月 球技大会表紙作成（2年）

6月 六稲祭（=ピッギイベント）

パンフレット表紙製作（2年）

看板製作（2年）

来校者を内外問わずあたたかく迎えてくれました。

垂れ幕（2年）

ステンドグラス（2年）

去年のマリリンに続いて今年は何かと話題のマイケルジャクソンをテーマにしてみました！・・・微妙…・作品展示

1、2、3年生合わせて22点展示。内10点はテーマを『人魚姫』とし、各場面を描いて物語を完成さ

せました。

今年は場所を変えたおかげかすごくたくさんの人（200人超）が見に来てくださいました。ご来場いただいた皆様には深く御礼申し上げます。やつた！

美術部は現在10人で活動しています。といっても運動部との兼部で忙しい人ばかりなので、全員が揃うことはなかなかありません。活動日は毎週月曜日を中心に、それ以外は好きな時間に個人の都合のいい日に活動しています。絵画だけでなく簡単な工芸の分野への挑戦ということで最近は七宝焼きという金属に色をつける焼き物も始めました。

今は8~9月の高校展に向けて油絵を製作中です。美術に興味のある人大歓迎です。毎週月曜日の放課後美術室にて活動しております、どんどん声をかけてやってください。

★フォークソング——工事中

★物理研究——

基本的に部員の自由にさせているので、したいことなら大抵何でもできます。もし興味を持ったら、中央階段を上って2階のガラス張りの扉を抜けたところにあるLAN教室へ来て見てください。

★文芸——

今年は多くの新入生を迎える6月の六稲祭では「北野文学」「幻」の新刊に加え、ご好評を頂いた「極彩色の色空想」を再版し、例年以上にたくさんの部誌を発行することができます。

活動内容特に変化はありませんが、3年生が引退した現在、1年生と2年生で、2月の文化芸術祭に向けてひっそりと活動しています。

部誌の感想、ご意見などは常時受け付けています。何かありましたら是非北野高校文芸部宛てにお寄せください。

★放送——

私達放送部は人数こそ少ないですが、そんな事をはねとぼくらの素晴らしいパワーを秘めたクラブです。まだまだ発展途上で大変な事もしばしば・・・。でも持ち前の明るさと努力、そして何より部員の協力でたくさんの修羅場をくぐりぬけ、ひとまわりもふたまわりも大きくなりました。これからも、多様なニーズに答えられるような「頼れる放送部」を目指して頑張ります！！！

もちろん部員も募集中！何かもししくは誰かの為に何かしたいと、心がくすぶっているあなた！！放送部に

来ませんか？大歓迎です☆

待ってまへす（☆☆）／

★漫画研究——

工事中（部員は7名になりました）

運動部：22団体 活動状況

★合氣道——

部員は現在1年19人、2年16人の計35人で活動をしております。

3年生も受験勉強の合間に縫つて技の指導をしに来てくれる、とても仲の良いいる部活です。

皆、天之武産合氣道ヶ場に所属しており、週に一度先生に御指導して頂いています。

また月に一度、師範に稽古をつけて頂いて、技の基本から応用まで広い範囲での鍛錬を行っています。

他校の合氣道部との交流も盛んで、今年は池田高等学校や京都大学の方々と合同練習を行います。

7月には高松東高校と合同合宿を行い、いろいろな人と触れ合い技の上達に励んでいます。

また3年時には、昇段試験もあります。

★応援——工事中

★器械体操——

大阪府春季大会（4月）

女子2部 団体総合 5位

堺春季大会（5月）

女子 団体総合 5位

今年で70周年を迎えます！！！O B、OGさん方や先生の熱心なご指導のおかげで、部員はめきめき力をつけています。これからも活動を期待すると共に、暖かく見守っていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

★剣道——

私たちは2005年7月現在、1年生男子10人・女子2人、2年生男子5人・女子3人の20人で活動しています。今年6月に3年生が引退し、2年生が中心となって活動するようになりました。試合は年に3回ある公式戦、そしてその他練習試合や招待試合等あり、それを目標にして日々稽古に励んでいます。

夏には福井県武生市で4泊5日の合宿（武生高校・北野高校）があり、ここで大きく力をつけていきます。3月には楽しいスキーや合宿もあります。まだ不安なところもありますが、さらに良い成績を残せるように頑張ります。顧問に尾島先生にかわり石川先生が来られました。石川先生、先輩方、O Bさん方、今後ともご指導よろしくお願ひいたします。

新人大会

【団体】男子 三回戦敗退

女子 二回戦敗退

【個人】男子 ベスト 16 1名

ベスト 32 1名

女子 三回戦敗退

北摂剣道大会

【団体】男子 一回戦敗退

女子 一回戦敗退

京都大学高校招待剣道大会

【団体】男子 予選リーグ敗退

大阪大学高校招待剣道大会

【団体】男子 予選リーグ敗退

女子 予選リーグ突破、

決勝トーナメント 1回戦敗退

高校総体大阪予選

【個人】男子 ベスト 8 1名

ベスト 32 1名

女子 一回戦敗退

【団体】男子 三回戦敗退

女子 二回戦敗退

★硬式野球

全国高校野球選手権大会大阪府予選

7月 15日 1回戦 ○22-0 南

7月 18日 2回戦 ○11-6 吹田

7月 22日 3回戦 ●4-14 金光

大阪

★サッカー

春季大会 1回戦 ×0-1 明星

選手権 8月 28日

1回戦 対 大塚(会場:未定)

現在9人の3年生がクラブに残り、夏から始まる選手権予選ベスト8を目指に、毎日熱い日々を過ごしています！3年生にとって最後の大会になるので、公式戦当日は是非応援に来てください！！！

★柔道

全国大会大阪府予選北地区大会 団体(5月1日) 二回戦敗退 ベスト8

全国大会団体予選中央大会(6月12日)一回戦敗退

全国大会個人予選(6月19日)

藤井 二回戦敗退

松浦 二回戦敗退

村山 三回戦敗退

部員は1年生が1名、2年生2名、3年生2名(2005年6月30日現在)

活動時間 平日 15:30~17:30
土曜日 13:30~16:00

★女子バスケットボール

新しい顧問の先生の下、日々練習しています。1年生4人 2年生4人と少ない人数ですがメニューを工夫してがんばっています！！

部員はいつでも募集中なのでぜひ一度見学に来てください。

火～木と土、日は体育館で、月曜日は外で練習しています。

四月 インターハイ予選

● 33-59 清風南海

★女子テニス

私たちは、2年生7人、1年生9人で一昨年の10月にできた、テニスコートでほぼ毎日楽しく活動しています。

時に厳しく、時にわきあいあいとボールを追い続けることはまさに青春です。部員はみんな仲が良く、遊びったりです。

☆春季総体本戦出場 ダブルス1組

シングルス2人

☆大阪春季団体 ベスト 16

☆春季赤坂杯(単) 本戦出場 5人
(優勝、3位)

★女子バレーボール

春季1次予選(3部リーグ戦)

○ 2-1 高石

○ 2-0 藤井寺

○ 2-0 芦間

3部優勝2部昇格

豊能地区大会(予選リーグ)

○ 2-0 笹面東

○ 2-0 少路

● 0-2 渋谷

豊能地区大会(決勝トーナメント)

● 1-2 東淀川(1回戦)

○ 2-1 豊中(4~8位決定戦)

● 0-2 桜塚(5, 6位決定戦)

近畿大会予選

1回戦 ○ 2-0 同志社香里

2回戦 ○ 2-1 天王寺

3回戦 ● 0-2 泉愛

私達は限られた練習時間の中で、日々邁進しています。部員は2年7人、1年8人です。土日は豪華チームと練習試合をさせてもらい、少しづつ力をつけています。また、お互いを高め合い、一球でも多くのボールを上げ、スパイクにつなげられるよう頑張っています。応援よろしくお願いします。

★水泳

・東大阪大会(4月) 於: 東大阪
室内プール

男子 100m バタフライ 4位

50m バタフライ 4位

50m 背泳 6位

女子 50m 平泳ぎ 8位

●現在はシーズン中のため、毎日練習に励んでいます。

★男子テニス

工事中

★卓球

高校選抜シングルス大会予選

男子シングルス ベスト 1 6

国体予選

男子シングルス 5回戦

春季高校選手権

男子団体

1回戦 ○ 3-1 大阪学院

2回戦 ○ 3-2 大阪

3回戦 ○ 3-1 金岡

4回戦 ● 0-3 精華

男子シングルス 4回戦

男子ダブルス 3回戦

近畿大会を目指して猛練習中です！！

活動日

月曜日・隔週木曜日がトレーニング

火曜日・隔週木曜日が剣道場

水曜日・金曜日がセミナーハウス

★男子バスケットボール

僕たちは現在部員 22人、マネージャー3人で活動しています。

自分達で話し合った結果、ヘッドコーチなしで自分たちで練習メニューを考え、練習試合を組んで活動しています。

目標は新人戦で大阪ベスト 16 にはいることです。OBの皆様ご協力お願いいたします。

試合結果↓

4月 17日 インターハイ一次予選 1回戦

○ 6 3-3 8 金岡

4月 23日 2回戦

● 4 8-7 6 八尾

★男子バレーボール

春高予選

● 0-2 枚方

西田杯予選

○ 2-1 千里

○ 2-0 池田北

○ 2-0 梶陵

西田杯決勝(三位)

○ 2-1 大阪学院

● 0-2 星翔

春の部別

○ 2-0 四天王寺羽曳丘

○ 2-0 大阪学院

○ 2-0 池田

豊能大会予選

○ 2-0 池田

○ 2-1 桜塚

豊能大会決勝(優勝)

○ 2-0 刀根山

○ 2-0 大教大池田

○ 2-0 池田

インターハイ予選

○ 2-0 泉陽

○ 2-0 久米田

○ 2-0 渋谷

インターハイ予選 二日目

○ 2-0 八尾翠翔

● 0-2 桃山学院

近畿大会出場決定！！！

★男子ハンドボール-----

春季総体

ブロック大会を3位で通過し、5月29日中央大会に出場しました。

中央大会

5月29日 ● 13-18 清風

★女子ハンドボール-----

私たち女子ハンドボール部は1年生17人、2年生12人で、OBさんの指導の下活動しています。1年、2年の仲がとてもよく、元気なクラブです。それぞれの特性を生かしたチームで、ブロック大会1位通過、近畿大会出場を目指して頑張っています。

・春季インターハイ予選ブロック大会(4/29)(5/3)

○ 17-10 寝屋川

● 3-16 金蘭会

・天高戦

○ 23-8 (新人戦)

○ 14-13 (現役戦)

★山岳-----

大阪府春季登山大会(5月7日8日)

男子優勝(12年連続)

インターハイ千葉大会出場決定

男女とも楽しく計画をして、練習をして、山行を行っています。部員は常に募集しています。元文化部や帰宅部やクラブを変えようと思っている方々、男女は問いません。ぜひ一度山岳部に来て下さい。

★ソフトボール-----

2年間休部していたソフトボール部が復活しました！！現在は1年生4人で頑張って活動しています。夏休みには様々な高校と一緒に合宿をしたり、合同チームを作り練習や試合をする予定です。人数は少ないので、やさしいOGの方々も色々手助けをしてください。これからは人数をもっと増やして“北野ソフトボール部”をつくっていこうと思いますので、応援よろしくお願いします！！

★バドミントン-----

第52回大阪高等学校

バドミントン選手権大会

〔男子シングルス2部〕4回戦進出

〔男子ダブルス2部〕ベスト32

〔女子シングルス2部〕5回戦進出

〔女子ダブルス2部〕3回戦進出

第59回大阪高等学校

春季バドミントン競技会

〔団体戦〕女子チーム2回戦進出

〔男子ダブルス2部〕2回戦進出

〔男子シングルス2部〕ベスト16

〔女子ダブルス2部〕ベスト32

〔女子シングルス2部〕5回戦進出

春季豊能地区大会

〔男子団体の部〕準優勝

〔女子団体初級の部〕2回戦進出

バドミントン部は現在、2年生19人+1年生19人で練習しています。月～水の朝錬・火、木、金の昼錬に加え、2004年9月からは遂に放課後体育館での練習も始まり、部員一同常に上のレベルを目指しています。土日はコーチに来てもらって、技術の向上に励んでいます。また、たくさんのOB・OGの方々が練習に参加して下さっています。今後とも、僕達バドミントン部をよろしくお願いします！！

★ラグビー-----

<大阪総合体育大会(春季大会)>

4月24日 予選リーグ

22-0 合同P ○

27-0 花園 ○

19-0 今宮工業○

決勝リーグ進出

5月1日 決勝リーグ

12-14 星翔 ×

24-7 開明 ○

17-7 泉北 ○

<定期戦>

6月19日 7-53 洛北×

現在部員数は3年生8人、2年生5人、1年生13人、マネージャー4人の計30人です。年々人数が減ってきていて、今回の新人戦は10人制での参加となりました。

なぜでしょうか？！ラグビーは最高の球技なのにっ！！一緒に北野でラグビーしましょうっ！

みんな高校から始める子ばかりなので、大丈夫！！新入生の入部を大歓迎で待っております。マネージャーも大大大歓迎です♪ 私と一緒に部員たちをサポートしていきましょう！！

4月からは15人制に復帰し、花園(全国大会)に出場するため、日々練習に励んでいます。また、今年はOB会から素晴らしいラグビーボールを寄付していただき、非常に充実した環境になりました。これからも応援よろしくお願いします。

★陸上競技-----

今年度も快調に走り続ける陸上部からは、近畿大会さらには全国大会出場者も出ており、部員は皆、近畿や全国の常連になれるようになつて日々の練習に励んでいます。

練習は基本的に、日曜・試合の翌日がオフで、メリハリのついたトレーニングができます。陸上が好きな人

は誰でも大歓迎ですので、興味があればぜひどうぞ！

試合結果

□2005年 インターハイ大阪大会

男子

200m 400m

走高跳

4×100mR (準決勝進出)

4×400mR

女子

100m、100mH、200m、400m、

800m、1500m

走高跳 (近畿大会出場)

4×100mR (決勝進出)

4×400mR (近畿大会出場)

インターハイ近畿大会

女子 走高跳 (3位・全国大会出場！)

4×400mR (準決勝進出)

昨年度は大阪大会や近畿大会で好成績を収める選手も多くなり、2005年度は、さらなる飛躍のために、日々お互いを刺激し合い、励まし合いながら、全国大会を目指し、切磋琢磨、練習しています。自分に挑戦したい人、興味のある人は、ぜひ、見学に来てください。

陸上部ホームページ↓

http://www.rac-kitano.org/~gen_eki/



校内に咲く『花ニラ』は六稜マークに似た可憐な花を付けます。工事中保存されていたものが園芸部などの努力で再び咲き出しました。旧校舎の運動場(バックネット横)にあった大楠も見えます。

六稜同窓会 132周年総会 開催のご案内

日時：2005年10月30日(日)13時から

場所：北野高校 多目的ホール・六稜会館

総会 多目的ホール

12:00 受付開始

13:00～14:45 総会

各種議事・活動報告

卓話

卓話紹介

「幹細胞－あなたの体をつくる素(もと)」

人間でも動植物でも、受精卵の1個の細胞が細胞分裂して生命が出来上がることは、皆さんもよくご存知のことでしょう。全く同じ遺伝子を持ちながら、ある細胞は神経に、また別のある細胞は皮膚になって行く・・・。

今回は「組織や体をつくるしくみ」という観点から、現在進められている最先端の研究の話題なども交え、幹細胞を中心に、平易な表現でお話ししていただく予定です。

卓話者：松崎文雄さん(86期)

北野高校から東京大学理学部へ。米国留学の後、国立精神・神経センター、東北大学加齢研究所教授を経て、現在 独立行政法人 理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター(理研CD B・神戸市) 非対称細胞分裂研究グループディレクター。理学博士。



幹細胞が分裂し、様々な細胞へと分化していくメカニズムに影響する物質の発見により、世界の研究者の仲間入りをされています。

なお、高校時代は陸上部でハイジャンプの選手。

【お願い】ご出席の方は、同封の返信はがきをお送りください。

六稜会報

No.45

発行日 2005年9月30日

発行者 山本 次郎

編集委員 富田 昌宏

壽榮松 正信

発 行 六稜同窓会 <http://www.rikuryo.or.jp>

〒532-0025 大阪市淀川区新北野2-5-13 府立北野高校内

phone.06-6306-0374 fax.06-6306-1335

印 刷 株式会社 シーズクリエイト

〒536-0011 大阪市城東区放出西1-7-15

phone 06-6969-6090 fax 06-6969-6089

事務局 月・水・金(祝日は休)10:00～17:00 北野高校内